京城日報

廿四日夕刊

定價 紙代 一部金二錢五厘 一ヶ月金五拾五錢 三ヶ月金壹圓六拾五錢 郵稅一ヶ月金七錢
廣告料 ▲五號活字一行金六拾錢 ▲特別欄內一行金壹圓貳拾錢 ▲場所指定一行は二號活字の二行は五號活字同樣の事

發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通二丁目 合資會社 京城日報社
電話番號 (編輯局……營業局……)

○九州行幸仰出さる

天皇陛下には來る十一月七日東京御發輦陸軍大演習御統裁の爲め福岡に行幸あらせらる可き旨仰出されたり(東京電報)

○英佛代表者公式協議

軍事及び政治上の形勢に關し意見を交換せんが爲め十月二十日ブーロヌに於て英佛政府代表者の公式協議あり佛國首相ブリアン氏を初め藏相リバウ、ブールヂョア、陸相ローク、海相ラカズ、兵站大臣トーマス、ジョッフル將軍英國首相アスキス氏外相グレー氏海相バルフオア氏陸相ロイドヂョージ氏參謀總長ロバートソン將軍ヘーグ將軍及び外交官海陸軍顧問等出席せり(紐育電報)

○佛國の對希臘王要求

雅典來電に曰く、佛國公使館附武官は希臘國王に或る要求を提出せるが其の中にはテッサリーに駐屯せる前希臘軍隊をペロポンネサッスに移す事及びテッサリーに在る糧食等を聯合軍に引き渡すの件もあり(紐育電報)

○露國と大使後任

石井前外相と確信

露國にては一般に外相榮轉に決し歸朝の途に就く本野子の後任を石井前外相なりと確信し居るもの丶如し(哈爾賓電報)

○騎兵學校行幸

天皇陛下には二十四日目黒陸軍騎兵實施學校卒業式に行幸あらせられたり(東京電報)

○四鄭鐵道著手

四平街鄭家屯間鐵道は近く假工事開始に決定せり完成迄には一箇年餘の時日を要すべし(東京電報)

◉巴將戰死は虛報

蒙軍三千を提げ邊りに殺到し來り一朝事志と違ひ根據地哈爾哈歸還の途に上りし巴布札布は巴林城內に於て熱河都統姜桂題麾下殺軍の爲に邀擊せられ遂に戰死せりとの說ありしが頃日南郭爾羅斯王府を經て長春に來りたる華興鎭天惠公司總辦董蘭泉の談に依れば巴布札布戰死說は全然虛報にして當初巴軍が達賴罕旗界に停止せし當時哲里木盟々長南郭爾羅斯王は東蒙古各王公を代表して巴布札布に謂へらく東蒙古獨立は我等王公の志に非ず卿にして尙ほ我等が旗界內に不穩の行動を爲す時は中央政府に對し之を等閑に附す能はず少しぐの愚を演せざる可からざるを遺憾とす寧ろ速かに哈爾哈に引揚ぐるを可とすべしとて頻りに慫慂する處ありしを以て巴布札布も亦之を可とし竊に有志の義捐を得て軍馬糧食の補充を滿たし阿爾科爾沁旗を通過して巴林に出で遙に林西縣を威嚇し烏珠穆沁旗に出で哈爾哈歸還の途にありと其筋より南郭爾羅斯王府に對し確報ありしと故に巴布札布の戰死說は全然虛報なりと語れり因に巴軍退去の當時に於ける兵の實數は約八百にして馬匹は一兵五頭宛補充しありたりと云ふ(大連)

◉天下好投降す

長春西北方面に暴威を振ひて常に民害を爲せる馬賊巨魁天下好は投降の意あるより張督軍は之れを許るし其所部を檢したる處七百二十名を算せるを以て該所部を以て一營を組織して天下好を營長に、又其部下の靑林、北來、靑山の三名を連長に任じたり(奉天)

◉政友會の態度は恁うだ

小川平吉氏の氣焔に曰く

入京中の政友會代議士小川平吉氏を旅館に訪ひ現下の政局について所見を叩くと、滔々たる其氣焔の當否は別として其の一端を掲ぐれば

▲寺內々閣の出現 大隈內閣は內治にも外交にも殊に外交に於て二進も三進も行かない程行き詰つてゐた、其の對支政策の無定見にて失敗を繰返せる實に醜狀見るに堪へないのであるから此亂雜不眞面目な內閣の後に誠心誠意を以て國務を執つて行かうとする寺內內閣の出現した事は兎角帝國にとり喜ばしい事と云はねばならぬ、又一面より云へば失政百出せし大隈內閣の後に寺內伯が出で丶政權を握つたのは同伯の爲めに幸ひとも思へる、乃ち何をしても目につく內治外交いかにも刷新しつ丶行つてゐるやうに一般から考へらるからである

▲新內閣と政黨 生れ出でし寺內內閣は非常に迅速に組織された今後各政黨の對寺內內閣態度は如何であるか、前途の形勢は混沌として其の風雲は雨となるか風となるか俄に豫測は出來ぬが、吾輩等の觀測では憲政會も政友會が第三次桂內閣及び昨年大隈內閣に對して執つたやうな態度には出で得まい、結局質問戰位で無事移りはせぬかと思ふ、以下少しく各政黨の態度を語らう

▲憲政會の現狀 憲政會では全く後繼內閣を加藤子の手で組織し得る事とのみ信じてゐたのだから、寺內內閣の出現は驚ろきもし不快でもあり癪でもある、乃ち同會は當然起つて反對すべきものであるが新政黨——殊に結黨の濟んだ許りの新政黨で內部の諸種の危い黨派關係は其結束力に非常の欠陷を有してゐる、議會で現內閣に向つて正面的攻勢に出づれば必らず其の一部を切り崩されて黨員幾干の數を減じ、又解散となれば結局幾干の頭數を保ち得べきか之れ甚だ疑問である、尤も昨今憲政會が機關紙に吠へさせる事、並に二三の排閣演說會を開く位に留まつてゐるのは加藤子平生の意見の結果もあらう、加藤子は群衆の勢ひを藉つて政戰を挑む事を嫌つてゐる、反對をするなり攻擊をするなら議政壇上で行るが好いと云ふのが其の主義である、子は從來其の黨員をして其の主義通りに纒めて來た、然し今回は黨員が個人的に排閣演說をやるなら敢て留めはせぬと云ふやうの風に出てゐるらしい、其處に多少の差は見ゆる

▲政友會の割込 何しろ新內閣は其の總豫算案の如き大隈內閣編成の分を受繼ぎ大綱は動かされぬと云ふのだから憲政會は前述の如き事情もあり正面攻擊の地位には恐らく立つまい、解散を睹して不信任案の提出と云ふ順には出で得まい、政黨を基礎とせぬ內閣だからとてそれで絕對反對とは一寸名目が立たぬ、超然內閣亦刻下の國情上止むを得ぬと云へばそれまでである、或は同志會の躁進すべきは還元問題の是非かと思ふが然しこれは可否の議論何れにも立ち、解散問題を惹起する程のものではあるまい政友會の態度は嚴正中立でよければ賛成し失政があれば攻擊する、國民黨も似たり寄つたりのものであらう、事實國民黨は憲政會との關係上其の尻馬に乘つて寺內內閣攻擊と云ふ譯には行かないのである、二三新聞や一部政客の間には政友會が新內閣に非常の好意を寄せ其內三四大臣の椅子を黨員で占むらしいとの觀測をやつてゐるが、それは全く無根の事で政友會よりは寺內々閣の存命中全く黨員を割込ます等の事はやらない事になつてゐる

▲無用の參政官 參政官も或は政友系統より採るらしいとの世說なきにしも非ざるやうだ、元來參政官と云ふ者は無用の長物である、次官局長が自分で編成し執行せんとする豫算の說明を自ら政府委員としてなすのは當然の事だ、多分現內閣は其の任命をやるまい、或は遠からず其の官制を廢止するであらう但し今すぐ參政官々制廢止と云ふ事は樞密院や其他の關係上行くまいが幾年かの後には其の廢止實行の事を政友會としては希望してゐる

□教育勅語謄本下附

京城府內の新設公立普通學校なる茶洞、昌信の兩校に對し今回其筋より教育に關する勅語謄本の御下附の御沙汰に接したるを以て金谷府尹は二十四日午前道廳に出頭し長官室に於て同謄本を拜戴し來り目下京城府內に保管中なり兩三日中に兩校へ傳達すべしと

◉總督優詔を拜す

二十三日午前十時三十分御召に依り宮中に參內の際陛下より長谷川新總督に對し左の勅語を賜はりたる旨在京長谷川總督より二十三日山縣政務總監宛著電ありたり

勅語

卿令命ニ膺リ任ニ赴ク夫レ綏撫力ヲ致シ以テ朕カ旨ニ副ハンコトヲ努メヨ

右優渥なる聖勅に對し長谷川總督は一身を捧げ以て報國盡忠の誠を效し奉る旨を奉答せりと

◉觀兵式の次第

來る三十一日天長節祝日當日龍山練兵場に於て觀兵式擧行の事は既報の如くなるが參加部隊は步兵第七十八聯隊、騎兵第三中隊、野砲兵第六中隊及び朝鮮步兵隊等にして步兵第七十八聯隊長池內大佐之が指揮官に任じ各部隊は同日午前八時所定の場所に就き同九時秋山駐剳軍司令官(立花師團長出張中に付)幕僚を隨へ入場各隊を順次閱兵し其れより分列式に移り十一時終了の豫定なるが非隊附將校全部も定刻所定の場所に就き陪觀の筈

◉純明皇后忌辰祭

廿三日は純明皇后忌辰祭に付李王職長官李聖默氏は李太王の御使として同日午前裕陵へ參拜せり

◉定例長官會議

二十四日は總督府定例長官會議當日なるを以て午前十時より山縣政務總監以下各部局長官又は代理第一會議室に參集種々政務上に付打合せの上正午十二時散會せり

◉高等地查委員會

總督府高等土地調查委員會は其第二部を二十五日總督府第一會議室に於て開會の筈

◉京城府協議員會

京城府にては二十四日午後二時より府協議員會を開き豫て起債せる府債の利子償還方法が年二回となり居れるも財政の關係上三回に改むることに協議したるが更に來る十一月三日の立太子式當日に於ける府民の奉祝方法等に就ても打合を爲す所ありたり

◉リ將軍を招待

高野三井物產支店長は二十三日正午入京中のリゲット比島陸軍司令官夫妻ジョンソン副官を主賓とし朝鮮ホテルに午餐會を催ほしが小松翰長、高橋大佐、岡本參謀長、菱田通譯官等陪席せり

◉リ將軍北行

比島陸軍司令官リゲット少將夫妻及び副官は二十三日午後九時四十分發列車にて天津に北行せり

◉李埈公牧場視察

李埈公殿下は金武官權藤松田兩事務官を隨へ二十三日午前八時三十分南大門發水原下車直に李王職種馬牧場に赴き放牧の狀況を視察し午餐後華山陵を參拜し餅店驛より汽車にて同夜九時歸京せり

◉軍司令官出發

步兵第四十旅團管下演習參觀の爲め來田中の秋山軍司令官は二十四日慶州地方に向け午前七時發列車にて出發白水參謀長は廿三日午後五時五分發にて京城に歸任せり(大田)

◉軍司令官歸任

步兵第四十旅團秋季演習視察の爲め大田方面へ出張中の秋山軍司令官は二十四日午後二時十八分龍山著列車にて歸任せり

◉立花中將出張

立花十九師團長は菊池副官を隨へ地理實查を兼ね步兵第三十九旅團幹部演習視察の爲め二十四日朝龍山發列車にて沙里院に向ひたるが同夕載寧著同地に二三日滯在視察をなしたる後沙里院に引返し同地方に於て擧行さる丶幹部演習を視察し廿九日同地出發平壤寺洞等を巡視し來月一日午後龍山著列車にて歸任の豫定なりと

◉白水參謀長出發

駐剳軍參謀長白水少將は古城副官を隨へ二十四日朝午前九時二十分龍山發沙里院へ出張せり

◉小原長官來田

小原忠南長官は二十二日午後八時五分著列車にて來田せしが廿三日觀兵式參列の上來田中の秋山軍司令官金久保少將其他五六名を富士家に招待し晚餐會を開きたるが廿四日來田中の澁谷第一部長と俱に歸公する筈なり(大田)

◉參加隊歸任

演習の爲め來田中の各地守備隊は二十四日午前五時五分より十二時三十分發までの列車にて出發歸任の筈(大田)

◉金久保少將歸邸

演習統監の爲め來田中の金久保步兵第四十旅團長及び副官は何れも二十四日零時三十分發列車にて歸邸せり(大田)

◉坂出技師內地出張

總督府技師坂出鳴海氏は廿五日出發內地へ出張す

◉釜山に於ける辻高衛氏

這般獨逸より歸朝の途に在る辻高衛氏は二十三日午前五時四十分著列車にて來釜停車場ホテルにて休憩後午前中は釜山中學校を參觀し午後は釜山市中を視察し午後八時半出帆の連絡船にて出發せり(釜山)

◉三線問題と朝鮮

政府當局に打電

三線連絡運賃問題は政務の爲め前內閣より新內閣に引繼がれたるが寺內首相は廿三日午前十時より首相官邸に於て各關係長官の各自意見聽取の上協議會を開かれし筈なるを以て釜山商業會議所會頭大池忠助氏は同日例に依り全鮮の會議所を代表し寺內首相、後藤內相、田遞相、後藤鐵道院總裁、長谷川總督に宛て左の電報を發せり

三線連絡制の實行は滿鮮貿易を發達せしむる最良の植民政策を確信す既定方針の斷行を切望す

尙大屋鐵道長官、兒玉內閣書記翰長に宛て本問題の實行に付御配意を乞ふと電報せり(釜山)

◉中村組株式許可

鎭南浦中村精七郎外六名より出願せる株式會社中村組は十月十六日附を以て總督府より許可せられ二十二日平南道廳より許可書の交附を受けたり

◉大豆運賃協議

特別運賃撤廢運動

仁川商業會議所にては昨紙所報の如く二十三日午後二時より有志大會より委囑を受けたる大豆割引運賃問題に關し樓上會議室に於て評議員會を召集し此れが諾否を決し且つ應諾したる場合に於ける運動方法等に就いて附議する處ありたるが同會にては滿場一致を以て大會の決議を許諾したる後此れが實行方法として團長指名にて奧田會頭、稻田副會頭、白神、阪倉、田中、河野、武田、丁致國、崔應三の九氏を擧げて閉會し引續き穀物協會との聯合協議會を開催したり、同會に於ては双方意見の交換をなしたる結果陳情委員として會議所側より三名協會側より二名を擧げ要路に向つて陳情をなし飽迄も目的の貫徹を期す可く決議したるが會議所にては陳情前當日の會議の經過を全鮮各會議所に報告すべしと、因に此より京城商業會議所原田會頭は仁川商業會議所に於る運動に關し政務總監其他要路を歷訪して當局の意嚮を質し同日午後二時半來仁したるも要するに對人割引は此れを撤廢し數量を制限して其以上の物に對し共益社と同樣の方針と賃率を以てしては如何と言ふに在りて結局仁川港としては何等恩惠に浴せざる者なれば到底此れに應ずる能はずとし長時間協議の上大會の決議に基く特別運賃撤廢を飽く迄も貫徹せしめざれば止まずとし午後十時散會したる由(仁川)

○三線運賃問題審議

內容は解決まで嚴秘に付す

三線連絡問題に關する協議會は二十三日午前より首相官邸に於て開會寺內首相後藤鐵道院總裁中村滿鐵總裁久保田內務次官白仁民政長官大屋鮮鐵長官大園監督局長木下運輸局長二本鮮鐵理事等出席正午暫時休憩したるのみにて引續き三時半迄種々協議する所ありたり其の內容に就ては協議會の全く終了する迄一切外部に發表せざるやう寺內首相より言明したるを以て各當局は何れも言明を避け居れるが仄聞する所によれば當日は種々協議の結果新に安奉線に特定運賃を設定する事に決したれば二十四日は午後一時より內相官邸に於て協議を再會し此の特定運賃より除外すべき貨物を選擇すべしと尙ほ確なる筋より聞く所に據れば右の特定運賃は從來鐵道院側に於て主張したる距離比例制は異名同質のものにて唯形式上原則運賃と特定運賃との區別あるのみなりと(東京電報)

◉貿易研究會協議

東亞貿易研究會よりの事業として哈爾賓の兩地に貿易狀況調查常置員特派につき既報の如く商議役員會にて決議せるが其經費の支出財源の途なきより種々協議を重ねたる結果同地方面に關係多き商人有力者に協議懇談する所あり大池會頭は廿三日午後六時より鳴戶本店に重なる有力者十數名を招待し種々協議をなせり(釜山)

◉藥劑師合格者

第一回朝鮮總督府藥劑師試驗は十月十一日より總督府醫院構內醫學專門學校に於て擧行二十一日終了受驗者十八名に對し六名の合格者あり其氏名左の如し

佐賀縣士族吉浦芳雄、廣島縣平民中崎靜男、島根縣平民板倉金市、山口縣平民梁林荷造、同上栗屋鮮三郎

◉京城中學修學旅行

京城中學校五學年生徒八十一名は職員四名に引率せられ修學旅行として廿三日夜發列車にて安東縣へ向け出發す

人事消息

▲李載覺侯爵 二十三日午前汶山へ
▲李載崑子爵 二十三日午後鳥致院へ
▲フレンチ大佐(救世軍司令) 二十三日午後大田より歸京
▲石塚孝治氏(朝鮮銀行釜山支店長) 山本旅館投宿中
▲加平郡守金恭換氏外觀察團二十名 二十三日夜入京
▲黃宋顯氏(京城支那領事) 二十三日仁川へ
▲白川友一氏 二十三日夜出發南行
▲羽生兵四郎氏(東京辯護士) 二十四日朝入京
▲大橋長一郎氏(實業家) 同上
▲河井松之助氏(實業家) 同上朝鮮ホテルへ
▲白井水城氏(辯護士) 二十四日朝入京夜出發平壤へ
▲大垣丈夫氏(京城通信社長) 二十五日夜行にて東上の筈

工事請負公告

一、漢江通暗渠及灌渠新設工事

此入札保證金ハ各自入札金高ノ百分ノ五以上

入札者ハ京城府內ニ於テ國稅地方費府稅學校組合費年額貳拾圓以上ヲ納ムル者ニシテ二年以上斯業ニ從事スル者ニ限ル

大正五年十月六日京城府條例第二號ニ依リ入札ニ附ス希望ノ者ハ本府計係ニ就キ工事仕譯書仕樣書現場等ヲ熟覽ノ上拾月廿七日午前十一時限リ同會計係ニ入札スヘシ卽時開札ス

契約ハ朝鮮總督府尹金谷充擔當ス

右號等會此リ

大正五年十月廿一日

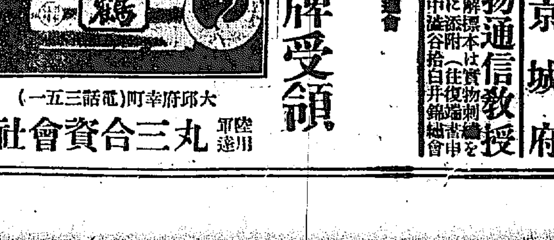
京城府

刺繡實物通信教授

手本及び繡方分解標本は實物刺繡を用ひ毎號講義錄に添附(往復端書申込規則送)東京中澁谷拾白井錦繡會

金牌受領

內國食料品共進會 一等賞



大邱府幸町(電話三五一)
陸軍用達 丸三合資會社

東洋毛布會社製

純毛 衛生 毛布

純白大判二枚續金四圓五十錢鼠極上大判二枚續金二圓八十錢ハガキにて申込代金引換便速達す(送料實費)

東京神田岩井河岸(振替七三四六)

東京織物共同販賣所

入札即賣會廣告

土地建物 某家所有左記不動產至急賣却方信託せられ候に付き

來十一月五日午前十時現場大和町二丁目八十五番地

長嶋昴次郎氏方にて

成行競爭入札により即賣仕候條住宅及借家經營地として理想的の箇所も多數有之候間賃地御一覽の上當日は進んで御買求被成下度右急告候也

京城太平通二丁目七八番地

多田不動產信託所

京龍不動產即賣會(電話一三二一番)

(一號)京城大和町二丁目八十五番地

一、垈 五百十一坪(李王職官舍前)

一、同地上 木造瓦葺平家一棟 此建坪三十七坪七合四勺 外水道、堀井戶、瓦斯電燈、浴場、疊建具附

一、庭園樹木數百本現存の儘

(二號)同十五番地(第一銀行社宅前)

一、田(住宅向垈)二百九十四坪

(三號)同百六番地(遞信局官舍道、橋の手前左側)

一、田(住宅向垈)三百十四坪

(四號)同三丁目四十番地(老人亭川の左岸、遞信局官舍西側高地)

一、垈 百二十八坪

(五號)本町四丁目七十八番地(本町通約十間南入)

一、田(住宅向垈)二百七十六坪

以上五筆(放賣地圖無料進呈仕候)

投資!!投資!!土地

市內土地の即賣會

立太子式の御事ども
一、神代の昔より傳へ傳へて

この度今上天皇陛下は第一皇子迪宮裕仁親王殿下のために十一月三日を以て宮中賢所大前に於て立太子の御式を行はせ給ふこととなつた、

□立太子の御式

立太子の禮は御即位大禮に次いでの最も大切な御儀式である、皇太子の御位は神武天皇以來皇室の御血統をひかせ給へる御方が御即ぎになる事今上天皇陛下の今日まで皆概ね一度は皇太子とならせられてのちに

□天皇の御位に

即かせ給ふのである。昔は御幾人かの皇太子の內から最も傑れて偉い方が天子の御位に登らるるともあつたが神武天皇二十八代目の繼體天皇の御時から皇太子を一人と定めになつたのである、それ以來立太子は今日に至るまで御一人に限られて居るのである、皇太子は天皇の

□御位の重きを

承けさせ給ふものであるから必らず皇后の御子を以てするを道し法とし若し皇后に御子のお出來にならぬ節は天皇の御血統の方を立て、皇太子とし給ふのである。歷代皇太子の立太子式は孝明天皇の時まで京都御所紫宸殿大前で行はせられたがその後は東京の

□皇居賢所大前

で御擧式の事となつた。立太子の御年齡は大抵御成年以上であつたが上古に於る立太子の御年は十五六歲以上にあらせられたといふことであるそれから立太子式の事であるが先づ第一に立太子式奉告の儀と申して今上天皇陛下 皇后陛下には第一皇子

□裕仁親王殿下

の皇太子の御位に登らせ給ふ由を宮中の三殿と申す賢所、皇靈殿、神殿にお告げに相成るのである、そこで此の宮中三殿の奉告の儀は立太子の御式を行はせたまふ日の朝早く三殿をお飾りになつて時刻になると宮內官吏又は

□諸員は大禮服

で定めの席に著きそれから御神樂を奏してゐる間に二人の掌典によつてお扉は開かれ神饌幣物の獻供が濟むと掌典長神前に進み拜祝詞を奏して退くと天皇皇后兩陛下の御代拜が恭しく神前に進まれ奉告あり、之れで

□奉告の儀は訖

るのである、然して御代拜には天皇陛下は侍從 皇后陛下は女官をお遣はしになるのである、尙立太子式を行はせたまふ當日には勅使を伊勢の大神宮並びに神武天皇明治天皇の兩山陵にお遣しになり

□幣物を奉らし

められそして之れが滯りなく終ると愈々立太子の御式、賢所大前の大儀に移るのである

望みの星を仰いで
牛乳配達夫となつた鮮人苦學生

京城醫學專門學校の學生と言へば內鮮人共大抵資產家の子弟が入つてゐる本年三月同校の入學試驗の受驗者は朝鮮人二百六十名、內地人六十八名で其選拔試驗に

▲首尾よく合格 して入學し得たものは內鮮人通じて七十五名であつた、其の中に感ずべき一名の朝鮮人苦學生がある、それは麗天慶(二)といふ若者である、實家は林町にある麗在天といふ者の長男である家は汚らしい溫突二間の手狹い室に父母と妹三名との六人暮しである見るも憫れな貧しい生活振りで一家は天慶が纔か計りの手內職と老衰した父母の其の日稼ぎに依つて辛くも其日の煙を立てゝ居るのである、天慶は十三歲の頃櫻井町の仁峴公立普通學校に入學したが

▲性來頭腦明晰 な同人は學術優秀で常に同級の模範となつてゐた、然るに貧窮といふ魔の手は遂に同人をして退學するの已むなきに至らしめた、心ならずも退學した天慶は十五歲の春人手を賴んで東亞煙草株式會社の給仕に住み込み、晝は給仕の仕事を勤め夜は卷煙草用の紙袋の製作に從事し朝の小暗い間から出勤前の僅かなる時間と夜は仕事を濟してから寢る迄の時間を偸んで一心に自習を勵んだ而して國語と普通學とを專ら攻究した、日本語の如きは頗る流暢なものである

▲斯くて六年間 刻苦精勵し月收七圓許りを悉く家庭の生活費に供給し本年三月施行の醫學專門學校の入學試驗に目出度く合格の榮譽を得て入校することになつたものゝ是迄七圓宛の收入があつて辛くも一家の生計を支へてゐた天慶は入學と同時に收入の道は杜絕し反對に學費の必要を來たし前途に望みの星を仰ぎながらも一家は再び悲境に陷る事となつたので何うしたものかと苦心中內地人から牛乳配達でもやれば時間外に

▲幾分の收入 あらうとの親切な敎へを受け附近なる平山搾乳場を訪問事情を述べて其配達夫たらんことを申込んだ同家でも不憫に思ひ早速快諾してやつたが、配達の時間が學校の授業時間と衝突する爲已むなく他の配達と異なり殆ど別働的に登校前と終業後の二回にやることゝし九月末日から續けてゐる、而して副業として東亞煙草の卷煙草袋をも作つてゐる、斯うして辛つと作

▲今では月七圓 許りの收入が出來るやうになつたが自宅は狹い上に家族が多く到底勉强することも不可能である爲め目下總督府醫院前に溫突一間を間借りし其處に單身起臥して餘念なく食事だけは自宅に通つてゐるが學科も相當の成績を收めてゐるといふことである、

賊の足跡を趁ふて(三)
畑で仕事をせる農夫の實見譚＝沙布無部の談

兇行の際龍城洞の鮮人一農夫は直ぐ近傍の畑で野良仕事をやつてゐたといふ其の者は當時の模樣を語つて『馬車が今にも坂道に差蒐ると見るや茶褐色の著物を著た見馴れぬ風采の者が墓地の附近に顯れたそれが小松林を透かして見ゐると同時に

▽一發の銃聲が 聞ゆ續いて多數の銃丸は二臺の馬車に向つて亂射された何分其距離は目と鼻のやうに接近して居つたから被害も夥しいものであらうと思はれたが私(農夫)は恐怖の餘り愴惶として自宅に驅け込んで室內に潛り込んだから其後の模樣は分らぬ』以上の模樣で賊等は成るべく馬車を手元近く迄引き寄せて置いて登つて來るのを上方から眞面に覘ひ擊ちをやつたもので前車では一名の西洋人は右胸部に一發受けて負傷後死亡二名の西洋人は何れも足首をやられ馭者の支那人一名も脚部を擊たれ剩さへ一頭の馬匹は臀部をやられたものだから足が利けぬ樣になつたが馭者は件の負傷馬のみを骨も折れよと許り叩いて激勵し賊の眼前を橫切つて疾驅した然るに賊等の方では豫て

▽三隊に分れて 中央隊で失敗した場合は別動隊で射止めやうといふ細心の配置迄もやつてゐたのは洵に憎らしい仕方であるが前車を逸した奴原は續いて後車に銃火を集中した、後車では西岡巡查が右胸部其の他を擊たれて瀕死の狀態になり(翌朝死亡)馬が一頭橫腹をやられて卽死、他の一頭は鼻に擊ち込まれたので連れの馬は大に狂奔し約十三四間程驅つた末殪れ同時に足部の動脈を射擊された支那人馭者も車上から大地に轉倒した儘多量の出血と共に絕息し內地人一名は耳朶に微傷を負ふた刹那馬車から墜落してコロ〳〵下手の溝の中に落ち込んだので其中に俯伏になつて身動きもせず假死を裝ふてゐた其後尙二三發其附近に銃彈が飛來したけれど幸に命中せず驚いて起き上り部落を目蒐けて懸命に逃走したが其際も幸に彈丸命中せず部落の最も奧の家の

▽物置小舍の中 に闖入し堆かく積まれてある藁の中に潛り込み息を殺して身慄してゐたとは實際のことで後からの物語りであつた、賊は後車の打倒るゝを見るや小刀を以て貨物を切り開いて見たが肝腎の貨幣

讀者文藝（一等には五十錢の郵券を呈す）

▼俗謠『便り』

○慣れぬ工場の寄宿に泣いて便り讀む夜の里心(一等) 京城大和町 竹雨生

▲露な便りにあの秋草の細い手らも畫地で咲く 龍山 岡本小草子

▲戀の便りに紅葉を添へて燃ゆる思ひを胸に引く 京城 長谷川うつし

▲栗と諸に歸唄添へて一度來ませと乳母の文 京城 大島紫流

▲泣いた昔に比べて今の泣けぬたよりが亦は泣く 龍山 案西穩波

課題及募集規定は欄外にあり

升川の流を亂して
第四十旅團機動演習の最終日
金久保旅團の突擊

第四十旅團長金久保少將は午前十時三十分連山を出發行進中萬年塔附近にて二十三日拂曉より前面の敵を攻擊すべく右翼旅團は午前七時白雲洞以西盤心西南方鐵道踏切の敵に攻擊する筈なれば第四十旅團は右翼の攻擊に伴ひ弁川以北より鐵道踏切の敵に向ひ攻擊し得る如く本夜配備に就くべき旨命令あり

▼弁川の夜營 金久保旅團長は上述の如き命令を受けたるを以て午後五時四十五分弁川西方高地に到著するや露營をなし廿三日拂曉右翼旅團と共に攻擊を開始せんと二宮少佐を上屯山露營司令官として旅團司令部騎兵一分隊步兵第七十九聯隊第三大隊を露營せしめ步兵第七十九聯隊を下屯山に步兵一小隊重砲兵中隊野砲兵中隊を砂場に露營せしむると同時に步兵第八十聯隊をして弁川西北方より步兵第三十九旅團の左翼に連繫し弁川より上井頭に亙る線を守備し敵情の搜索を續行せしめ下屯山宿營部隊より殊に新村附近に一部隊を出し大田方面を警戒すべく命せり

▼拂曉の徒涉戰 斯くして夜を徹したる左翼旅團は敵情の搜索を終り午前六時となり互に砲火を交へ重砲は白雲の如き煙りを山の彼方に渦卷かせ殷々たる砲聲は山岳の崩るゝばかりなりき此の援護を受けたる第七十九八十の兩聯隊は一齊に弁川に飛び入り東軍より送る銃砲火を物ともせず肉薄し來り正に接戰と見えし時しも打方止めの喇叭は弁川西方高地に起り無事今期演習は終局を告げたり時に午前八時五分なりき

▼閱兵式擧行 二十三日演習の終りを告ぐる頃より雨降り出したるに午前十時頃に至り晴れたれば隊伍整々として兵營東方高地に參加の諸隊は集合し午前十一時半秋山司令官の閱兵式あり終つて安東大佐指揮にて分列式を行ひ終りを告げたるは午後一時前なりし演習中は地方にて大部隊を運動せしめ殊に重砲を動かす如きは未曾有の事なれば至る所參觀者多く朝鮮人の如きは眼を開き居れり連山附近の如き湖南線より來るもの約千人に及び同線開始以來多數の乘客を輸送したりといふ地方民は高所あれば集合せざる所なき程なりき二十三日は演習最終日なると觀兵式あるを以て參觀者多かりき

▼關係者慰勞宴 大田を中心とし漣山に涉る演習の爲め參加せし將校及び各關係者無慮二百名を金久保少將は招待し廿三日午後四時尋常小學校新築校舍にて慰勞宴を開けり

食事中兇行
墺國首相暗殺後報

アムステルダム來電に曰く、墺太利首相スツエルク伯はホテルに於て食事中暗殺されたり兇行者はアドラーと稱する者なるが首相に接近して手早く三回發砲し首相は頭部を擊たれ卽死せり砲聲を聞きて若干の士官援劍にて突入し來り兇漢は抵抗を爲さず警官に引き渡されたるが法廷に於て兇行の理由を陳述すべしと語れり彼は一社會黨機關新聞發行人にして又他の社會黨機關新聞の主筆を兼ね且社會黨の秘書たり(經濟電報)

銀行支配人 公金橫領
損害四十五萬圓

元尾張銀行支配人張秀彥は行金四十五萬圓橫領消費せる事露顯し廿三日拘引せらる(大阪特電)

十一箇所に網
▽本町署の非常警戒

京城本町署管內にては近來小泥棒徘徊し夕刻などは殊に明巢覘ひ掻つ浚ひ等の被害多きを以て二十二日午後六時頃より非番巡查約九十名を以て十一箇所にて見張りをなし擧動不審の者は用捨なく誰何し同夜半引揚げたるが賭博三件、竊盜一件を檢擧したり

岩下事件
檢事の求刑

岩下事件につき檢事は岩下懲役十五年、小塚八年、永田五年、室田一年、中西十年、熊谷四年と求刑せり辯論は十一月九日より開廷の筈(大阪特電)

貔貅續々演習地に向ふ

今回肥筑の野に於て擧行せらるゝ特別大演習に參加すべき第五師團の貔貅は來る二十七八の兩日及び十一月一二の兩日に關門通過の筈なるが對馬警備隊百七十餘名は木田少將引率二十二日夜宮島丸にて門司著二十三日朝上陸小倉に向へり(門司特電)

流浪人は賊

北海道小樽區相生町生れ住所不定の岩本靖彥(二三)は本月八日釜山本町五丁目居住の山田某方より貯金額五十圓の通帳一册及び印章を竊取したるを手初めに釜山にて外四箇所を荒し廻り京釜線沃川、大邱等にても小泥棒をなしたる末龍山に流れ込み漢江通伊藤理髮店にて衣類雜品を竊取して遂に龍山分隊に檢擧されたり

●中村學士遺骨運送者 金剛山東珠潭に於て殉職せる山林課技手中村光雄氏の遺骨は二十四日午後五時

司令官陸軍少將リゲット氏夫妻は副官大佐ジョンソン氏を隨へ二十二日午前さくら丸にて上陸直に停車場へ

●埃溜場から片足 平壤府常……調べたる處道慈惠醫院の捨てたる者と判明せり

●連絡船上陸客 廿三日午前……

き、野中ふみ、吳廣濱、岡惠慶亮、同貞子、丸尾武男、中島あつ、同良男、同桂之丞、川井田金太郎……

季候と腦神經
△松茸時分の頭腦と神經 △先づ藥の撰び方が肝腎

回逆上せる頭が病む

日々の天氣さへ氣分に影響する。季候は尙更腦神經に影響を及す。暑さが去つて追々冷かさが來ようといふ今の季候は、卽ち所謂松茸時て、兎角人の神經を傷ましめると共に、頭を病ませさせる。松茸には菌があつて人の頭を逆上せさせるが、でなくても人は兎角逆上せて頭を惡くし、神經を損ふのが今の時である。

回藥を撰び損ふな

健康を誇つてゐる人でも隨分『胃』されるのだから、多少とも腦神經の故障のある人、其の病者の人々は充分注意を要するので、此際よく〳〵攝養すると共に服藥もよく人の經驗や自分の判斷に訴へて極良いものを撰んで用ふる必要がある。世には可なり如何はしい藥も多いもので、藥を撰び損ふと、効が無いばかりか却つて惡い結果を來す事もあるから、此段は特に注意を要する。

回信用してよい藥

それで今の處極めて嚴重な眼で比べて見て、腦神經病者、病者といふ程でなくても常に又は屢々腦神經に關する故障、例へば逆上、頭痛、便秘、耳鳴、不眠、物忘、倦怠、食慾不進、無元氣等のある人、及び腦神經に營養を與へて腦力を增進し度い人などが一番安心し信用して用ひてよいのは有名な腦神經藥健腦丸である。

回信用できる譯

何故といへば、健腦丸は世間にざらに出來ある腦神經藥など稱するものとは出來が違つてゐる。第一其發賣元たる丹平商會は海外にまで信用の厚い藥舖であつて、其製藥場は最も設備の完全なものとして知られてゐる。そして此所に專門の藥學者達が技師として夫々仕事を分擔し、原料藥の精撰、調劑方の嚴密等少しも手落なく行はれるのであるから、惡い藥の出來やう筈が無い。

回鮮明した効

であるから由來腦神經の藥といふものは兎角効の判然せぬものであるが健腦丸は最も判然してゐる。前に揚げた腦神經の故障などには實に鮮かに効く逆上を引下げ便通を快くする等は其効の一端であるが、これだけの事にも多くの人が健腦丸ばかりを使つてゐる。

回飲酒家愛煙家

腦神經、其れに關する故障及び腦力增進等の健腦丸の効は特に著しいものであるが、尙一つ此藥を少量宛持藥として常用すると、かの恐ろしい腦卒中腦充血等を未發に防ぎ、常に腦を鮮明させる等の効があるので飲酒家愛煙家の常用者が非常に多い。藥價は四回分廿錢から十週分五圓迄種々、本舖は大阪心齋橋二、東京舖は……屋町の丹平商會。內地及海外の各藥店で取次販賣してゐる。

演藝案內

明治町 電話二六〇 浪花館
○東京女流浪界之大關 桃中軒桃子改め日の本三都子孃來る 今晚の讀物△武道の譽れ(武雄)△學生の失敗(桃右衞門)△孝女の仇討(日の本三都子孃)△後藤三代記長講二席(神田伯猿)每夜正六時半開演
日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店

櫻井町 電話八七三 大正館
△十月二十四日より提供の大寫眞 ○エルサレムの風景(實寫) ○探偵喜劇マツクスの武張 △英國アンニル會社傑作 ▲泰西活劇鐵の冠(全三卷) ▲立花貞二郎、秋月邦武一派出演東京都新聞連載小說 ◉新派大活悲劇將軍の娘(全四卷) ▲尾上松之助一派出演 ◉舊劇三人吉三(全三卷)……

本町一丁目 電話二六六 有樂館
日本活動寫眞株式會社特約
△十月二十日より特別大興行 ……◉新派大悲劇觀音岩(全三卷)……◉舊劇鞍馬八郞(全三卷)……

二十四日より 大正館
■目玉松之助出演本年新撮影 舊劇三人吉三
■東京都新聞連載小說 新派悲劇將軍の娘 四卷
■英國アンコル會社近作 活劇鐵の冠 三卷

電話一八五二(階上) 二六三七(階下) 黃金館
天然色活動寫眞株式會社滿鮮一手代理店 ……○泰西大活劇敷設水雷(全六千呎) ○舊劇番町皿屋敷『お菊虫』……

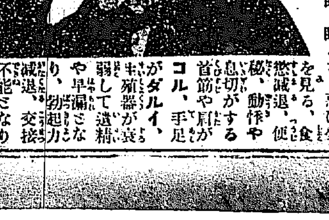
電話一九一番 御成町 御成座
△新派劇振美團一行第二回替藝題
第三回替藝題 (一)喜劇『當り矢』全二場 (二)『母の心』全七場 ……

銃の修理は多年の經驗と獨特の技工と完全なる設備とを有する 龍山元町二丁目 玉井銃砲工場

進歩せる國民には進歩せる藥劑を要す 是が理想的なるは大學目藥也

登錄商標 瓢水味淋 堺 醸造 專賣店 京城本町二丁目 前田酒店

模範 牛乳 純粹培養 ヨーグルト 太正塚肥醫獸主場 京城遊町四 東亞牧場 (電話五二番)

不幸な人とはコンナ人を云ふ
●腦神經衰弱病に苦む人●生殖器衰弱症に惱む人●
近頃此病人が多くなつた、大抵コンナ容態で苦悶して居る、頭痛や眩暈や耳鳴がする、夜は不眠、眠ることも惡ひ夢を見る、食慾減退、便秘、動悸や息切がする、首筋や肩が凝る、手足がダルイ、コル、生殖器が衰弱して遺精や早漏となり、勃起力減退、交接不能となり何事も手に付かず、精力、記憶力、思考力、判斷力等減退、常に取越し苦勞をする、何事を見聞しても快感なく每日悲觀苦悶にて自分の身體を持餘すような不幸なる人あらばハガキにて▼東京市東兩國小泉町廿八 救世堂へ申込あれ特効藥セーフの說明書を送る


課題及募集規程
▲川柳「湯」〆切廿四日 發表廿五日 ▲(俗謠)「秋の夜」〆切廿六日 發表廿七日
募集規程 ▲用紙は端書又は四六判の洋紙一枚毎に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事▲賞は一等……

曇少雨後晴 十月廿五日
舊曆九月廿九日 西曆……
日出 六時五分 日沒 五時四十四分
滿潮 仁川 午前四時七分 午後…… 釜山 午前…… 午後……

……十二時四十分南大門驛着に變更せり

……り將軍夫妻 馬尼拉駐劄軍……を視察し市內各所にて種々の商品を買求せり(釜山)

……たれば仰天し直に警察署に届出で平壤警察署より係官出張し種々取……

……五十六聯隊を横領して遊興消費し龍山憲兵分隊に引致さる

……二等(四十一名)竹本武三郎、……同光子、木谷泰郎、……

……枝、大島義逸、北城はま、池上政楠、……

……同 廿九日 同 三十日 同 一日 (以記に限る)

獵天狗講話

□獐の卷□

九月以降になると野山の草木に新芽のやわらかなものが無くなつてくる之れに反して畑には大豆小豆其他の物が澤山有る其處で獐は

■夕ぐれから 山を出かけて畑あさりをする夜八時頃に腹一杯食うて一ト休みして朝が未だ薄暗き內又復畑あさりをして滿腹すると其附近に寢込んでしまふのですそこでこちらも朝可成早く大豆小豆などのある樣な山の附近即ち山に接續した畑を見廻ると足跡がある屎がある之れを

■昨夜のもの か今朝のものか或は古きものかと云ふ事を鑑定して今朝のものとすると此附近に居るな扨何處だらうと見廻す南面した日當りよき小松若しくは柏のある處是れだなとすぐ分る餘り樹木が大いと居らぬ二三回の經驗ですぐ分りますそこで

■挾みと云ふ 獵り方から御話しする事にしましよう此挾みと云ふのは獵人二人共同してやるのです之れが一番澤山獵れる方法です私しなぞ一日平均五頭位は獵ります前申上げました畑の足跡から附近の山を見て先づ此邊と鑑定がつくと二人揃うて其山の小松のある附近迄前進するそして其山の景狀を見て打ち場所を極めるそして甲は其山或は谷の

■獐の居るこ 假定した小松若くば柏の有る處を一週し初めるそしてやゝ挾んだと思ふ頃先きに止まつて居つた乙は亦反對の方面に向つて廻り込むそうすると獐は先きに自分の周圍を廻らんとする者に眼を付けて見て居つたのが今度は乙者が歩き出すから其方へ眼を付けて先の人の

■行動は忘れ て乙者に許り氣をとられて居る內に甲者は近づく然して甲乙の距離七十間位迄になれば何處から飛出しても心配ない譯けですが是れ迄は可成丈け靜かに行動したいが挾んだと思ふたら無ゑんりよやるべしです、獐が居るか居らんかは見ねないから分らない分らなくとも居りさふな處と

■鑑定したら 挾んで見るのです然し見込んだのは大丈夫はづれないです今度は一人で獵る方法之れは二人でやるのと大差ないです可成丈け大廻りに其周圍を廻り始めるそして左圖面に示す如くに近づいて行く凡て獐は一度人間の廻つた方面へは

■危險地域こ して可成未だ人の通過せぬ方面に逃場を選むのでそれは初めから人の廻る方面に尻を向けて逃腰になつて頭だけ振り向き見て居る然しこちらでは何處に居るかわからんが獐の方ではだんだん近づくに隨うて危險を感じ飛出すのですから初めに

■此所を打場 にしようと定めておいて其處だけ明けて他方面を一週するのですどうしても打場と定めた處へ逃げ出す樣にしかけるのです

◆猩紅熱と學校庭

空氣の乾燥する初冬の頃になると京城では毎年猩紅熱が流行し各小學校など〔illegible〕たる處ろ、〔illegible〕部長曰く猩紅熱は校庭の塵埃が〔illegible〕是れが防遏に努めて居る道路側と協議して近く市內小學校の校庭に塵埃の立たぬ樣に設備を爲し又一方では學校側と連絡をとつて各兒童に勉めて含嗽するやうに奬勵し咽喉部の抵抗力を養成せしむる方針である

◆蟲齒が痛んだら

◆何うすれば好いか◆

秋になると大人も子供も蟲齒に惱まされる人が多くなりますが、これは食欲が增進して來ると過食する爲に腸胃を傷ひ、其兆候が口內や舌に現れて口腔內が充血し、齒の營養が惡くなる結果、齒が黴菌に冒され易くなるのです。それで口腔內の衞生に注意して◆齒を綺麗に磨く事も◆必要ですが、根本的に腸胃を良くする事が大切であります。それから蟲齒の多い事は體質の關係のあるもので、粘液質の子供や腺液質の小兒には多い樣ですから、さう云ふ體質の小兒は食物に注意して消化れ易い物を選ぶが宜しい。又一般に小兒には夜分寢に就く前に甘い菓子や牛乳などを與へぬ樣にし夕食後は必ず湯を呑ませる樣にしたが宜しい。又◆小兒の乳齒期には◆よく發熱したり、痙攣を起したり下痢したりするものですが、さう云ふ時には齒莖が固くなつて居て直ぐ分ります。子供はさう云ふ時にむづ痒く感じるものですから、ゴム人形などを嚙ませる事が適當です。又小兒でも大人でも口腔內に水が溜るのは胃が惡かつたり腸に加答兒を起したりして居るので、從つて其爲に齒の營養が惡くなり齒の琺瑯質を痛めますから、さう云ふ時にも腸胃の健全を計る事が必要であります(某齒科醫談)

◎長橋町の小火

京城長橋町ペンキ職村越玉方より二十四日午前八時四十分發火したるも藥屋根少許を燒毀したるのみにて卽時消止む原因はペンキ用油を煮沸中火を引いて發火したるものなりと

◎不埒なる外交員

福岡縣〔illegible〕郡若松市生れの有松操(三九)は龍山漢江通活版業松本某方の外交員に雇はれ中六月より九月末日迄に集金したる百……

室內玩具いろいろ

秋涼の季に入つてお子樣達の遊戲にはどう云ふものが喜ばれるかと申しますと、お庭が廣くて自由に運動が出來るお家は兎も角、駆け競べや鬼ごつこの出來ないお家では時々の珍らしい玩具が一番歡迎されて居ります。それで

◇此頃 樂器の玩具が流行つて居るのも新しい試みですが其には針金の絃を用ひたヴアイオリンや胴に本物の猫の皮を張つた三味線や可愛らしい琴もありますそしてそれ等の玩具は只形許り眞似したものでなく、小さなお子さん方にも容易に彈けて亦音が出るので一層興味を唆る樣です

◇價も 左程高くなく一圓以下であります。又お孃さん方に大變喜ばれる飯事用のお料理のお膳部や西洋食器なども此頃では單に形許りでなく、本物の模型とした樣なものが一般に迎へられるさうです。坊ちやん方の玩具で賣れるものは幻燈や活動寫眞器、寫眞器などで、極く少さた坊ちやん方でも自動的なものを好む

◇傾向 があります。又お人形類なども多く出ます。又一尺位の京人形や著物や羽織、帶などを揃へて箱入にしたものや、又西洋人形は只今舶來物がすつかり來なくなつたので和製が出來てゐますが、和製では顏の形も洋服の著付も恰好が惡い樣であります

◎秋鹿商店の新築祝

京城本町〔illegible〕の製造元秋鹿商店は工事建築中の處此程落成し日祝の爲め得意先へ栗羊羹及び栗饅頭を寄贈せりと

△會のいろいろ▽

◎公州小學校運動會 二十二日の日曜日を卜し公州公立尋常高等小學校にては秋季運動會を開催したるが小春日和の好天氣の事とて見物人山をなし五十餘の小學校、郡部面長其他の參加兩來賓觀覽者等〔illegible〕

◎天安學校の運動會 天安公立尋常高等小學校には二十二日午前十時より秋季大運動會を開催したるが當日は天氣晴朗にして見物人多く縣內管理者より優勝者に優勝旗の授與を爲し午後五時三十分散會せるが大盛會なりき

◎成興普通校運動會 成南成興公立普通校秋季運動會は愈々來る二十九日の日曜日を卜し校庭に於て擧行する筈

神社とお寺と教會

◎東本願寺(南山町) 二十五日午前十時及午後二時同七時より報恩講執行尚ほ御傳鈔あり

△ちぎり芋

つく芋の皮をむきおろし金にておろし是を箸にてかき廻し堅くなりたる處を鍋に味淋に煮きりを作りさまして少量を殘して別に器にあげおき鍋の方へも前のおろしたる芋をつけ取りわけおきの方へは酢及び鹽少量を加へかきまはして味を見て前の芋を器に盛り上より此の作りたる三杯酢かけ刻みにミジン生姜を添へます又淺草海苔にて包みてもよし

宮本武藏

第百九十六回

桃川如燕口演 浪上義三郎速記

信夫の喜左衞門は 喜『是は能うこそお訪ね下さいました、手前が當家の主人喜左衞門にございます、貴下方は江戸の先生方で居らつしやいますか』曉『是は御主人にございますか、手前は曉雲と申しまする儒者でございます、此の年になつて諸方を彷徨つて居る者でありますから疎な者ではございません』喜『是は恐れ入りました、隨分手前共へ是まで儒者と云つて來た者もありますが、出來もしないで大きな顏をして居る、それに引替先生は只今のお言葉に疎な者ではないと自分の口から御仰るは豪い方に相違ないエー此方に居らつしやる先生は』二『手前も江戸でございまして、畫を少々學びました者で是とても能くは出來ません』喜『ハア畫の先生で居らつしやいますかまア何うか今晩は御悠然召上つて一日二日と云はず緩々御逗留を願ひます』二『有難ふございます』喜『儒者の先生とございますれば何うか爲になります話しを伺いたいもので』曉『イヤ何も存じませんが、然しお尋ねとあれば存じて居ることはお話しをいたさう』喜『是非願ひます、エーそれに畫の先生にも何か一ツ御逗留中認めて頂きたいもので』二『手前で宜しくば何か認めませう』と云つて居る處へ家內が其處へ參り挨拶をいたし奉公人も主人の申し付けか代るべく其處へ來て挨拶をして引取ります、

食事終つて次の室へ引取つて打臥したゞ、夜の具は綿布、枕頭には水差し煙草盆なぞを置いて實に手厚くいたしてくれますから、翌日は雨が降りましたから逗留をした、喜左衞門は一日側に附いて居て待遇をして居る、何しろ水野日向守は諸侯の內での學者、又宮本二天は是又文武の達人、何を話しをしても一々爲になることばかり、喜左衞門は喜んで片時も側を離れず、種々の話しを聞いて居ります、其に五六日居る內に一日喜左衞門は朝早く他出したが、其の日夕方に歸つて參りまして喜『ヘエお客樣、只今歸りました』曉『御主人お相手をいたしませんで恐入りました、今朝程早くお出掛けになつたやうであつたが今お歸りになりましたか』喜『左樣でございます、此の田舍には巳待庚申待なぞといふことをいたしますが、今日は巳待で村內の者が寄合まして一日遊びまするので、手前も役を預つて居りますから其の席へ行かねばなりません爲只今まで參つて居りました』曉『イヤ左樣でござるか』喜『處が先生、田舍なぞは狹いもので、もう貴下方が私共に泊つてお在なさることが村中へ知れて居りました』曉『ハ、ア』喜『村內の者の申しますには、何うですね今度來た儒者といふは少しは出來る人でなくと思ふと云ひますから私が、今まで俺の處へ來た儒者なぞはつまらない者ばかり來たが、今度お出になつた先生は大層なお方だと私が申しました』曉『それは吹き過ぎましたな』喜『處が村內の者が申すには然ういふ豪い方ならば何か爲になる話しを聞かして頂きたいものでと云ひますからそれなら是から歸つて先生に願つて置くから今夜聞きに來るが宜いと申しましたので、今晩次第によると村內の者が參りますが、何か爲になる話しを聞かして遣つて下さいまし』曉『然うでござるか、左樣ならば何か心覺えのお話しをいたしませう』と云つて居る處へ村內の者が五六十人這入つて參りまして○『ヘエ旦那樣今晩は、何うか爲になるお話しを聞かして頂きたいもので』○『ヘエ今晩は、有難ふございます、お話しを伺いに參りました』とドカドカ入つて來る 喜『イヤあれからば先生に願つた處早速の御承知、然ういふことなら何かになる話しを聞かしてやらうと被仰つたさア皆な此方へ來て座に着くが宜い』○『ヘエ有難うございます』喜『而して頂くに疊の上では工合が惡い、高座を拵へなければ叶けない』と長櫃を此處へ持つて來て其の上へ蒲團を敷き前に机を置いて左右に燭臺を立て、其の前へ一同を並らせて是より曉雲が經書の講義をいたします

秋は菊(〔illegible〕) 菓子は名代の『栗饅頭』 千利堂(〔illegible〕)

京城明治町本通 盛花家元 宗匠 春道齋 未生流生花師範

產婆 大和町一丁目四十五 小林カツ 電話一一五五番

外科 花柳病 皮膚科 內科 耳鼻咽喉科 京城旭町一丁目四番地(旭町上る左へ入る) 島崎病院 電話二七三六番 診察九時迄 院長 醫學士 島崎龍一 手術室新設、隔離室、普通病室設備 入院隨意

十月廿六日九星 舊九月三十日丙申 木命一白北開友引

▲一白 無邪氣なる〔illegible〕▲二黑 〔illegible〕▲三碧 〔illegible〕▲四綠 〔illegible〕▲五黃 〔illegible〕▲六白 〔illegible〕▲七赤 〔illegible〕▲八白 〔illegible〕▲九紫 〔illegible〕

商況

東京株式特電

諸株煖發す

二十一日前場 大引

東京債券現物特電(前日との比較)

東京公債直取引(前日との比較)

深川在米特電

東京期米特電

二十四日前場 十月限 十一月限 十二月限

大阪株式特電

大阪三品特電

本社電報未着なるも東京に達せし入電によれば前場當限百七十八圓九十五錢先限百七十八圓〔illegible〕十錢高に移せりと

大阪期米特電

下關期米特電

二十四日前場

雜報

◎綿糸狂奔す

原棉は二十三日印棉七十錢高米棉小高き入報なりしが綿糸は意外にも突飛の入電あり共他撚糸の如きも四二番百五十六圓とあり〔illegible〕

米棉一圓十錢の暴騰

〔illegible〕

一躍四圓の暴騰を示

〔illegible〕

◎粗布又新値

〔illegible〕粗布三圓〔illegible〕

布二十錢方値上げ

〔illegible〕

持品賣止め態度

〔illegible〕

◎洋燈類弗々動く

〔illegible〕

◎洋紙類は活況

〔illegible〕

◎約三割高

〔illegible〕

◎板硝子引締む

〔illegible〕

方引上げ 約七八十錢

〔illegible〕

利 仲買店 仁川米豆取引所仲買人

◎內地製粉底強し

〔illegible〕

下關相場

▲朝鮮白米は〔illegible〕▲小豆は〔illegible〕▲大豆は〔illegible〕▲肥料の現況〔illegible〕

京城正米

南大門の廻穀

仁川現物市場

釜山穀物市場 廿三日

仁川期米

二十四日前場

天前寄十五圓三十錢と昨止より一錢安の入電

大阪二節三十三錢と小戾の移

市場零聞

▲前場焦げ付き

▲一向氣乘りせず

▲依然動かず 恰も食傷相場を現出

田中金兵衛 一般有價證券賣買 田中

▲中限解商內

▲高下頻々反

▲賣現へ二千七百石の解商內

日々取組の減少

▲期米引弱觀

〔illegible〕

外は畢竟鞘咎め

期は十二月の節季

月の關係上人氣は

依然賣り逸り

弱の關原は中限戰か强

仁川米豆取引所

廿四日の十二月限

	寄付	止め値	高値	安値	出來
	〔illegible〕	〔illegible〕	〔illegible〕	〔illegible〕	〔illegible〕

▲賣買取組高

▲日製糖本株

北濱だより

▲箕面電鐵株

青物小賣相場

ホウレンソウ	四〇	ヤマイモ	八〇
シンキク	三〇〇	トウイモ	四〇
シヤクシナ	二〇〇	アカメイモ	三〇
ミヅナ	一五	ダイコン	三〇
タカナ	二〇	ニンジン	二五
ワケギ	一五	ゴボウ	二五
カイワリ	一五	レンコン	九〇
ミツバ	二五	ユリネ	二五
チギ	一〇	クワイ	二〇
コイモ	二五	フキ	五〇
サツマイモ	二五	キウリ	三五
ツチイモ	二五	ナス	五〇

◉成功致富の近道は何か

まづ株式相場をなすに限る
株の賣買は決して危險にあらず

『富強世界』社長　高柳淳之助

▲今の富豪は皆株にて金を儲く

[illegible]

▲相場で失敗する者は何ぞや

[illegible]

▲株とは如何なるものか

[illegible]

▲株を持つ利益此の如し

[illegible]

▲未亡人株の賣買を始む

[illegible]

▲株の相場をなすとは如何

[illegible]

▲株の相場下らば如何するか

[illegible]

▲株は何人でも何地でも出來る

[illegible]

▲株式相場の研究

[illegible]

▲株式賣買の資金

[illegible]

▲空論にあらず實際的なり

[illegible]

▲余の株券的相場觀

[illegible]

▲一刻も躊躇すべからず

[illegible]

東京神田表神保町　富強世界社

ライオン齒磨

完全なる化學的作用

ライオン齒磨は齲齒の原因たる乳酸醱酵菌に對して、菌体の破壞作用に絶大の効力を有する特殊の製藥を以て齲蝕を防止す。

完全なる理學的作用

ライオン齒磨獨得の工場に於て精撰せらるゝ微細なる粉末は、齒牙の補充に使用せる金屬に對してすら磨滅の憂なく、随つて齒質を損傷せずして能く齒垢其他齒間の不潔物を完全に除去し、汚物の醱酵より來る口臭を豫防す。

完全なる藥効的作用

常に口腔に存する病原菌に對して繁殖を防ぎ、若しくは死滅せしめ、朝夕の使用に依つて齒痛を豫防し、且つ齒齦炎の如き口腔内に起る炎症に對して特効を有す。

其他、香・色・齒觸の感じも萬人向にして、品質は固より絶對優良、價格より言ふも一般民度にかなひ、趣味より論ずれば淡雅清新、まことに一點非難の打ちどころ無き、萬人日常不可缺の衞生品たるを示しつつあり。

英語講義録

親切なる講義
完全なる設備

世界的交渉の頻繁なる今日何人も缺くべからざるは英語の力である。駸々たる世界の進歩に遲れず將來劇烈なる競爭場裡に立たんとする諸君は英語を學び立派に立身の根底を造らんとは思はざるか
本會は十餘年の經驗と努力とに依り現今最も信用ある通信講義録を發行し最低廉なる會費と最親切なる設備とに依り有効に迅速に諸君の目的を全ふすべし。

見本進呈
内容見本附詳細案内書
申込者に無代送呈す

東京市麴町區富士見町
電話番町三四七〇番
大日本國民英語學會

お待兼の
アイボリー石鹸
漸く着荷。不相變御愛用を願ひます。
エグソン石鹸は清冽なる芳香を以て有名。アイボリー石鹸には芳香なきも共に世界有数の純良石鹸です。

輸入及製造元
東京・丸の内
藤原商店
支店・京城黄金町二丁目

特價金六十四錢
京城日報社代理部

年中無休刊 (大正四年八月十日 第三種郵便物認可)

京城日報

第三版

廿五日朝刊 夕刊と合せて八頁

本紙定價 一部金三錢五厘 一ヶ月金七十五錢 郵稅一ヶ月金拾五錢
廣告料 活字一行金七拾錢 五號活字同一行金壹圓 ……
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話 編輯 …… 營業 …… 振替貯金口座京城 ……

朝鮮の珍書 (三)

○韓人の著作にて、最も佛教の學問上に貢獻したるものは、僧義天の『新編諸宗教藏總錄』に若くはなかる可し。即ち世間に稱する義天目錄是也。○是書は高麗沙門義天が、二十年の苦心を以て、其の得たる新舊の製選諸宗義章を編次したるものにして、佛經の註疏の概略は、此に備はれり。予之を得んと欲する久し。數年前漸く之を得たり、而して天下の奇寶也。○此書は元祿六年の出版なれども、其の我國に傳來したるとの遠きは、其卷末に『安元二年丙申六月四日以仁和寺華嚴院法橋景雅御本書寫了』との文あるを以て知る可し。安元二年は、今を去る七百四十一年也。然も其の以前に傳來したるや明けし。○予が此書を、天下の奇寶と稱するは、其の先收者の故を以て也。上下二冊之を合して、僅かに六十葉に過ぎず。されど第一冊の標紙には、『行誡藏』の手記あり、又た『行誡上人所照』の標紙にも『行誡藏』の手記あり。第二冊の標紙にも『行誡藏』の手記あり。而して兩冊の卷首にも、同樣の手記あり。則ち是れ近世佛門の大德、福田行誡上人の所愛にして、之を島田蕃根翁に贈りたるものなるを知る也。○第二冊の卷末空白に、上人の跋文あり、文長ければ之を略す。『世局澆季、人好浮淺、幸免偏固者鮮、逐新奇、所謂於古道若罔而忘然、可不慨而嘆乎、記示兒孫、慶應戊辰三月無量山僧行誡書于墨水東』とは末の一節也。當時宛も官軍東下、江戸城明渡の最中たりし也。天下亂麻、人心鼎沸の際、上人獨り遺經を擁いて、墨水の濱に閑居す。其の感慨如何ぞや。讀み來れば、恰も上人の謦咳に接するが如く、紙上に響くを覺ゆ。○島田蕃根翁の篤學の士たるは、予が特筆を俟たず。彼の『縮刻大藏經』の如き、翁の始終一貫したる熱誠と努力とに歸するもの、少なからざりしならむ。若夫れ日本の齋藥古鈔が翁によりて如何に保存せられたるかは、愛書家の感謝措く能はざる所也。○高麗僧義天は半島佛教史上に於ける大立者也。彼の傳記は、釋門正統、佛祖通載、佛祖統記等にも掲載せらる。彼は實に高麗國文宗仁孝王の第四子にして、我が後冷泉天皇の天喜三年、宋の仁宗皇帝の至和二年に生れ、我が堀川天皇の康和三年、宋の徽宗皇帝の建中靖國元年に逝く。享年四十七、僧臘三十六の短生涯也。○彼が王子たるに拘らず、如何に勇猛の精神を發揮して、斯道の研鑽に勗めたるかは、金富軾が撰したる碑銘にて分明也。『至年甫壯、從自勤苦、早夜孜々、務博覽强記、而無常師、道之所存則從而學之、自賢首教觀、及頓漸大小乘經律論章疏、無不探索、又餘力外學、見聞淵博、自仲尼老聃之書、子史集錄百家之說、亦嘗玩其菁華、而尋其根柢』とは決して溢美の辭にあらざりしことは、彼の經歷之を證して餘りある也。○彼は元豐七年、入宋を請うて容されざるが爲めに、竊かに商船に搭じて去り。それより宋の神宗皇帝に上表して、賢首敎を傳へんことを請ひ勅命を奉じて、當時の諸名僧を訪ひ搜索し得たる書、無慮四千卷を齎して歸れり。乃ち義天目錄の出來したるは、元祐五年の八月なれば、彼の入宋の効果の一斑は、此にて表明せらる。○彼が入宋中の送迎の、如何に仰山なりしかは、諸高僧と應酬の詩文や、又た東坡が、高麗入貢者の爲めに、民を勞し、金を糜するの不可なるを痛論したる上書にて知る可し。○彼の隱棲したる海印寺には、今尚ほ『大覺國師全集』の板木若干あり。字形頑冴識別するに苦み、且つ板木斷續、頁を做さゞるも、聊か其の片影を認め、高麗板の典型を見るに足るものあり。大覺國師は即義天也。

安奉線距離比例主義に賛す (二)

三線問題に就て

安東縣日陞公司 金井佐次氏寄

△賛成の理由(三)

距離比例制度實施の結果奉天以北の特產物が朝鮮線を經由して永久に輸入せらるべき經濟的範圍は九州並に山陽の一部なるを以て滿鐵及び大連に大なる惡影響を與ふるものにあらず。運輸交通の便否は地方經濟の發展文明の進步に重大なる影響を及ぼすものなることは敢て喋々を要せざるところ、滿蒙の富源も日滿歐露の連絡開始と共に之を世界に紹介するの氣運を早めたるは何人と雖も異論なきところなるべし。而して距離比例制度は更に一步を進め自然の法則に準據し母國との經濟關係を密接ならしめ與地各自の發達を促進するものなりと認む。然るに此一部貨物の自然的通路を開放せず、强て大連經路に據らしめんとして之に反對するは眞に滿蒙の爲めに謀るものと云ふべからず、海運界の不調なりし大正三年度に於ける大連の日本向輸出總額を見るに九十五萬二千六百四十五噸にして(當時の海運賃は大連、關門、阪神間百斤六錢より十錢內外なりしを以て距離比例に依る鐵道經由に比するときは其安きこと實に半ばに達せず)此內本問題に關係淺き石炭木材牛骨金物其他の雜品を除き大豆、小豆、豆粕、豆油及び雜穀類の輸出總額を仕向地別に內譯をなせば左の如し。(大連埠頭事務所調査に依る)

仕向地名	噸數	摘要
關門及九州	[illegible]	內關門揚ゲ[illegible] 長崎外五港[illegible]
大阪及神戸	一六九、四四三	
伊勢灣及び清水	一三三、七四四	內清水港揚一四、三三九
東京及橫濱	一五九、〇三〇	
新潟、酒田、石濱	三三、六六六	
當灣及流球	四四、三三六	
計	七三三、〇三三	

而して安奉線距離比例主義實施の曉に於て三線特約最低運賃と大連經由汽船積運賃とを比較するに、先づ奉天を基點として同地より大連に至る汽車賃積込賃輸出稅保險料及び著地揚陸諸掛等の合計金額を算定し之を距離比例三線連絡最低運賃並に國境關稅三分の一減其他諸掛を加減したる金額より控除する時は、其殘額は大連港より著地迄の汽船運賃に該當するものにして、之に大連著港間の船賃を比較し、船賃が多額なる場合は連絡鐵道便に依るを利益とし、少額なる場合は大連經由を得策とするものなり。左に前記殘額の各地別表を示さん(別紙大連及朝鮮兩經由大豆豆粕各諸掛の比較表參照)

著地	大豆(百斤)	豆粕(百斤)
橫濱	三五錢九厘	三六錢九厘
名古屋	二八錢二厘	二九錢二厘
神戸	二三錢三厘	二四錢七厘
門司	一一錢七厘	一三錢

而して汽船運賃は時々高低ありと雖も現下の大連各港間の運賃率は大凡左の如し

著地	五年九月中旬運賃 社外船貨率	五年九月中旬運賃 定期船貨率	同年十月上旬運賃 社外船貨率	同年十月上旬運賃 定期船貨率
橫濱	一九錢乃至二三錢	二〇錢乃至二三錢	二三錢乃至二五錢	二〇錢乃至二三錢
伊勢灣	一七錢乃至二〇錢	—	一九錢乃至二三錢	—
阪神	一一錢乃至一四錢	二五錢乃至二八錢	一四錢乃至一八錢	二五錢乃至二八錢
關門	一一錢乃至一四錢	二五錢乃至二八錢	一四錢乃至一八錢	二五錢乃至二八錢

備考 伊勢灣は名古屋と阪神は神戸と對照したること九、十月中に於ける安東縣關門間の大阪商船會社定期船運賃率は豆粕百斤十五錢乃至十六錢にして大連航路に比し三割內外下位にある事實は安東縣のそれに比し反對の奇觀を呈せるは注意に値すべき事なり

乃ち此兩者を對比するに定期船を除きて關門揚に於て漸く均衡を保たんとするに北支其他は何れも大連經由の有利なるを示せり、只定期船に於て神戶關門共に不利を示せるも是蓋し同定期の大阪商船會社の獨占航路なるが故にして當然三三割高率なるべき大連橫濱間が却て反對に百斤につき二錢乃至八錢の下位にあるを以て判知するを得ん、故に一面より之を觀れば距離比例主義の實施は大連門司間等の船賃を引下ぐべき材料となり大連同港間の貿易發展を促進するものと云ふを得べし。從て本制度實施の後と雖も現今の如き海運界の趨勢を以てしては大連及び滿鐵の被る影響は殆んど言ふに足らざるべし。又既往に於ける大連各港間の海運賃を顧み阪神關門五錢乃至七錢伊勢灣七錢より九錢橫濱八錢乃至十錢の時代多かりしを想はゞ、假令將來海運界の昂騰を觀ることあるも過去と同じく一時的の現象たるは明かなり。今國家永遠の利益の爲め本制度を研究するに當り斯の如き一時的なる現象に基き可否を論ぜんとするは寔に危險なりと謂ふべし。且つ如何なる頭腦の場合と雖も大連港としての商業的勢力は一朝一夕に動搖するものにあらざるを以て阪神以東への輸出の全部を新經路に奪取さるゝが如きは斷じて懼からざるなり。

半島史蹟調査に就て (二)

文學博士 三浦周行氏談

また前述の李朝最古の地理書に對しては予は朝鮮文獻として特筆大書すべきものなるを信ず。其の編纂は今より四百九十一年前世宗の七年に成りしものにて、朝鮮に於ける地理書としては是れより以前に出來たるもの無きに非ざれど、それらは何れも簡單粗略に過ぎ、且つ原本に非ざる贋寫ものゝみにて到底道囘の發見のものに比すべくも非ず、且つまた此の書は當時の原本にして現存せるは僅かに慶尙道のもののみなれど此の他のものは當時世宗の命により各道に於て編纂せるものと見るを得べし。何となれば此の他『續撰地理書』なるものありてこれも今日殘れるは慶尙道のものゝみなれど是によつて見るも明かに前者の補ひとなせること明かなり。猶ほまた

△朝鮮地理書の編纂 事業は京城に於ける春秋館內に設けられたるが其の編纂に當りては朝鮮各道より參考書を徵したるものにて、これによつて見るも現存の慶尙道地理書の他に猶ほ各道のものを編纂せるものと見るを得べし。然るに春秋館所藏の文獻類は總て壬辰の役の兵燹に罹り道囘予の發見せるは慶州府に遺りし副本なれども其の文獻上の價値は彼の李朝實錄と共に奎章閣の誇りとすべきものと信ず。猶地理書に對する詳細の研究は後日歸東の上發表すべき心算なれども其の裝幀の如きは洵に文獻中の珍と云ふべく書冊は長さ二尺八寸幅七寸七分厚さ二寸六分重量五百三百二十匁にして

△綴目は銅の延板を用ゐたり。以上記す處は予の奎章閣にて研究せる一端に過ぎざれども斯の如く日鮮相互の歷史を對照して稽ふれば從來兩國互に個々獨立せる史實の誤りを正し正鵠なる史實を闡明し得べしと信ず。且つまた從來は官吏は勿論國王さへも見ることを得ざりし奎章閣の秘書が容易にわれ等の繙讀に供し史上の參考に資せられしは實に日韓併合の恩澤といふべしこれによりて歷史上の眞相を公平に判斷するを得るは學界の幸福と云はざるべからざるなり。(完)

日報詩壇

○月下臥舟 齋藤 三寅

山沈江底水涵天。酒醒庭陽了萬緣。風露滿衫眠不得。臥看明月暫停船。

評曰 凉氣亦滿紙上

○送別次韻 高田 小芥

無限江上夜浮船。繚繞吟魂如駕天。月姊有情應笑我。醉來閒伴白鷗眠。

評曰 亦是太情

○次高橋某韻 森下 半狂

醉臥暫時休喚醒。此情誰惹我心寧。雲遮雨幕蒸猶白。松影浸杯酒瀲青。詩文付殘夢。掩情功罪讓餘齡。座中客有何段似。三疊陽關一曲孤。

評曰 意思微混渺之無端 頸聯可

○入槐南集中

思詩求獻弄疎鬚。一穗書燈與我孤。回首分襟猶昨夢。迢迢千里水雲區。

評曰 相思幽渺

○讀三國史記 古城 梅溪

半島三分兵禍連。歷朝營畑出先天。興亡畳當年事。古往今來幾變遷。

○曝書 園山 牧雲

赫日射庭除。羅經逐壁魚。雖傳心教外。不復學狂愚。

評曰 喝得妙妙

飛躍せる 立太子禮奉祝
新少年義勇團の大活動
新少年
十一月號出づ
飛行機建設寄附券附 定價二十一錢 一冊郵稅不要
東京神田錦町 平和出版社 振替東京八七八七

新刊書御案內

書名	著者	定價
債權者の法律顧問	[illegible]	特一、八〇
朝鮮受驗必携 法律講義	坂上網吉	特 七五
危險なる年齡	[illegible]	一、二〇
マクベス	シェークスピア	一、〇〇
田中式豚肉調理法	田中宏	八〇
大典紀念 四十七士傳	[illegible]	一、八〇
月郊脚本集	高安三郎	一、八〇
支那論	山路愛山	六〇
寄風傑作鈔	[illegible]	一、二〇
神尾式速算法	神尾鈴吉	一、二〇
國語文法詳解	小野	八〇
同 緝編	同	四〇
同 法律問答	坂上網吉	四〇
朝鮮巡査受驗提要	永野清	特一、四五
大日本寺院總覽	堀由藏	特一、〇〇

書名	著者	定價
◎採證學	法律新聞社	二、〇〇
◎債權者法律顧問	森健堂	二、三〇
◎殖民論	永井柳太郎	六〇
◎コナント氏銀行論	高島誠一	二、五〇
◎日本國際私法論 分冊一	山口	一、二〇
◎信用及擔保貸附論	渡邊英助	一、二〇
◎經濟原論 上卷	山崎覺次郎	一、〇〇
◎日本刑法 分冊の一	牧野英一	一、〇〇
◎民法釋義物權下	中島玉吉	二、八〇
◎無過失損害賠償	岡松參太郎	四、一五
◎責任論 全	遠山操	二、〇〇
◎古今日本軍記文選	小山內薫	四〇
◎江島生島	中原鄧州	九〇
◎機略縱橫	佐川春水	一、〇〇
◎英語正解法中編	富山房	特九〇
◎現名家書簡集	同	特一、四〇
◎作文講話及文範	同	特一、三〇
◎書簡文講話及文範	川合春充	一、二〇
◎心身強健術		
◎非水の圖案	杉浦非水	特三、八〇

寄贈 尺八樂譜解說 一部拾錢 郵稅二錢
尺八樂譜 目錄希望者は郵券二錢
東京小石川區大和町 尺八教授 水野呂童

大阪屋號書店 京城本町 電話八四〇 振替京城一〇八六

叢松堂書店 京城本町二丁目 電話一六六番 振替京城二四四番

現代の職業中自動車運轉手程愉快で收入多く大なる職は無い外國は二百五十圓以上日本は普通五六十圓多いのは月收二百圓 就職容易海外に渡るに無部 料進呈 東京京橋南紺屋町 發動機協會

◎机上に携帯に便益無比の新辭典◎
文學博士三島毅先生 文學博士大槻文彥先生 監修 濱野知三郎先生輯著
新譯漢和辭典
漢文典と故事熟語辭典とを兼ね嶄新にして而かも穩健輕便にして內容豐富且つ捜字の自在なる本書は出版界の一異彩として偉大の歡迎を博し註文日々山積せり特價提供中速に御申込あらんことを請ふ
體裁 縱四寸三分橫二寸七分 新鑄七號活字三段組 紙數壹千貳百八拾餘頁 印刷鮮明總布裝幀高雅
定價金壹圓 特價八拾錢 送料市內四錢 市外八錢 臺樺卅錢 支朝卅錢
註文の好機は今
內容見本無代進呈

漢字研究の良書是 (即ち)
岡井愼吾先生著 漢字の形音義 ▲最新刊 菊版全一冊 定價一圓五十錢 送料十二錢
後藤朝太郎先生著 漢字音の系統 ▲增訂四版 菊版全一冊 定價一圓五十錢 送料八錢
安達常正先生編 漢字の研究 ▲好評五版 菊版全一冊 定價一圓五十錢 送料十二錢
太田全齋先生著 濱野知三郎先生校訂 漢呉音圖 和裝六冊 價二圓五十錢 送十二錢
漢呉音圖 漢語音圖說 同樂音圖 音徵不盡 音圖口義 全弁讃例
森愼一郎先生著 新撰漢文典 ▲好評三版 洋裝菊版美本全一冊 定價金一圓五十錢 送料十二錢

文學博士三島毅先生 大槻文彥先生監修 濱野知三郎先生輯著
新譯漢和大辭典
四六版總布製本 定價二圓五十錢 特價貳圓 特製背皮製本 實價金三十錢增
送料 市內十四錢 市外十六錢 臺樺四十五錢 支朝二十五錢

縮刷 新譯漢和大辭典
菊半截版總布製 定價一圓五十錢 特價壹圓貳拾錢
送料 市內十四錢 市外十二錢 臺樺三十二錢 支朝四十錢

(天覽賜)
文學博士大槻文彥先生編著
言海
小形特價壹圓貳拾錢 送料 市外十二錢 臺樺廿錢 支朝三十錢
中形特價壹圓五拾錢 送料 市外十二錢 臺樺卅錢 支朝四十錢
大形正價參圓五拾錢 送料 市外廿錢 臺樺四十錢 支朝五十錢

東京日本橋區數寄屋町 六合館 振替東京三二七一一番

斯界を風靡せし
國產ホーオー印ミルク
歐洲戰亂に伴ひ 外國製ミルクは愈々拂底を示し
今や國產獎勵の時季に當り
幾多ミルク中舶來品を凌駕し 眞に品質優秀の定評あるは獨り
ホーオー印あるのみ!!
速に御試用を希ふ

發賣元 京城本町二丁目 株式會社 明治屋京城支店 (電話二一二番。一七三番)

▲愈動かず 天候舉天一時崩れ……
[illegible]
▲後場 寄付 止 高値 安値 ……
▲記事なし▲警戒區域全南北道 備南北道沿岸及び內陸

立太子禮諸儀式

十一月三日御執行の立太子禮諸儀式に關し二十三日午後式部職より左の通發表ありたり（東京特電）

一日午後二時　鳳凰間に於て神宮、神武天皇山陵、明治天皇山陵に勅使差遣の儀を行はせらる

三日午前六時三十分　賢所奉告の儀を行はせらる

同日午前八時十分　賢所大前の儀に參出諸員は大勳位以下各高官伯子男總代二人宮內奏任官總代二人參集の事

同日午前八時三十分　親王同妃王族皇族御參集の事

同日午前十時二十分　皇太子殿下賢所皇靈殿神殿に關する儀を行はせらる

同日午後二時　宮中正殿に於て朝見の儀を行はせらる

支那對露質問回答

米支鐵道敷設契約に就て

支那外交衙門は露國が米支鐵道建設契約即ち山西省實鎭より甘肅省寧夏に至り更に同處より萬里長城の外方蘭州府に至る鐵道線敷設に關し一千八百九十九年の露支條約に基き口頭を以て質問し來りたるに對し右鐵道線は西南方に向ひ西伯利亞方面に駛るものにあらざるを指摘し尚今回の契約は露國の權利を侵害する點なしと回答せり（上海電報）

佛居留地擴張抗議

北京來報に曰く支那外交衙門は佛國が天津居留地を擴張せんとして强制的に若干の地域の讓渡を受けんとする行爲に對し抗議を提出せり（上海電報）

蒙古軍益々陸梁す

巴布札布の死亡說流布され居るに拘らず蒙軍は今猶頻りに横行し最近司令官趙騎兵團長は張督軍に對し目下熱河道開魯縣に四千の蒙軍在り討伐困難なるを以て軍器防寒具の送附方を電請し來れり（奉天特電）

平和維持同盟贊成

英外相の午餐會席上に於ける演說

倫敦來電に曰く英國外相グレー伯は外國新聞記者協會午餐會席上に於て一場の演說を試み目下米國に於て戰後平和維持同盟を組織せんとする運動行はれつゝあるに對し贊成の意を表し次で右同盟に參加する諸國民は必要の場合には武力に訴へても同盟の決議を遵奉せんとする公共的精神を有せざる可らずと言明せり（紐育電報）

露羅兩軍の奮戰

露都來電＝羅馬尼軍は獨墺軍をしてトランシルヴアニアの數地點より退却を餘儀なくせしめたり又ドブルヂア方面に於て引き續き退却中なる露羅兩軍はマッケンゼン軍と頑强に戰ひつゝあり（紐育電報）

獨軍羅國要塞占領

伯林公報はコンスタンザに於ける羅馬尼軍要塞の占領を發表せり（紐育電報）

大阪より

[illegible]の如きも機械類の[illegible]杜絕し[illegible]力たる[illegible]心しつゝ[illegible]今の實情は現在の如き採炭能力に於ては到底需要を充す可らざるが如[illegible]爭奪募集に努め某會社の如きは工夫賃金の二倍以上を支給すべく標榜し[illegible]上の優遇をなすにあらざれば現在の工夫の引留又募集は奏効せざるべく[illegible]

▲危險區域縮小　[illegible]大邱警察署となれり [illegible]は虎疫發生危險地帶の交通遮斷をな[illegible]

▲新患者八名　二十三日釜山[illegible]

▲京城患者死亡率　十月二十日現在に於ける京城府內虎疫患者[illegible]

▲全道虎疫累計　二十三日現在[illegible]

朝鮮來年豫算踏襲

內務省所管大正六年度朝鮮、臺灣、樺太に於ける殖民地豫算案は先般來內相官邸に於て後藤內相親しく當該官吏より提出豫算の款項目に亙り編成方針を詳細に聽取の結果何れも前內閣の編成せる豫算案を踏襲する事に決定し此程該豫算案全部を一括して大藏省に廻附せり（東京特電）

滿鐵醫師派遣

目下奉天赤十字病院に入院せる吳俊陞の負傷檢診の爲め二十四日滿鐵より醫師を派遣せり（奉天特電）

中村都督東上

中村關東都督は二十四日大連より入港の商船臺南丸にて門司經由海路東上せり用件は政務奏上の爲めなりと（門司特電）

兩博士門司發

花井、鵜澤兩博士は二十四日夜門司解纜の高麗丸にて渡鮮せり（門司特電）

上田博士支那行

文學博士上田萬年氏は支那視察の爲め二十四日商船阿蘇丸にて門司出發大連に向へり（門司特電）

朝郵成績

前期の二倍以上に當る　利益金十六萬圓を計上し

大正五年四月一日より同年九月三十日に至る第五期前半年度の事蹟を聞くに當半年度末に於ける定期航路は命令私營併せて十六線所有汽船三十一艘一萬三百二十五噸の外傭船二艘七百七十九噸にして當半年度間の航海囘數一千二十七囘航海浬數延長三十五萬八千七百二十九浬にて共輸送貨物十四萬九千餘噸船客十二萬一千餘人とす當會社は設立以來方に四年有半を經過し

▲航路船舶を改善

し各地海運の便大に加はり之を舊時に比すれば隔世の觀ありと雖も產業の發達及貿易の趨勢に鑑みれば社業の前途益多事なるもの在り朝鮮沿岸並に近海に出沒する社外船は當方面の繁忙期には內地の閑散期に於て來襲し一朝比較的有利の方面生ずるや直に去つて之に赴くを例とす今や時局のため船價傭船料運賃等異常の騰貴に逢着し競て他の有利の航路に趨り殆んど其姿影を留めざるに至る此際若し當社の存するなからんか朝鮮沿岸並に近海の交通貿易或は杜絕すべく偶々運航するものあらば運賃の騰貴驚くべきものありしならん然るに當會社の運航平時に異ならず運賃亦一定の率を失はずして其低廉なること當今殆んど類例を見ざる所なり隨て交通貿易に及ぼす効果尠からざるは獨り當會社の誇とする所なると共に其責務の益重きを感じ上下相警め努めて

▲社業の基礎

を堅實にし穩健なる發達を期せんとす一般市況は前季に引續き漸次恢復し今季に入り益好況となり西鮮沿岸方面の一部を除く外全線荷客の移動夥しく所謂夏枯の跡なきを得たり就中時局のため一面に於て對露補潮貿易振興し一面に於て從來主として北鮮に出沒したる社外船の來襲なかりしは特記すべき現象にして諸因相伴ふて本季營業成績大に良好なるを得たり以下各線の概況を述ふへし

一、近海航路

元山浦鹽斯德線（命令）

本線に依る露國行戰時需用品の輸送は本季に入り益々

每往航滿載の盛況を呈し船客亦著しく多

きを加へ特に北鮮及山東より出稼人の往來夥しく殊に豆粕類の積取が一段の增加を示し比率は低く特に北鮮の各港よりの輸出は未だ乏しきも漸次品種及數量を加ふ本航路には從來二艘を配し一艘を長崎に一艘を門司に延長のところ船腹尚ほ不足のため十月以降當分の間傭船一艘を增配せり

仁川芝罘線（私營）

本線の成績は本季に於て稍著るべき進捗を示し就中米國食料品の輸出牛皮原鰻の輸入增加し船客の往來亦多きを加ふ

二、東沿岸各航路

元山雄基線（命令私營）　[illegible]（命令）　釜山鬱陵島線（命令）　釜山浦項線（命令）　元山長箭線（私營）

備考　元山永興間鐵道の全通に伴ひ九月二十日限り元山永興線は廢航せり　金剛山探勝旅客及び長箭地方漁業者の便を計り六月より十月迄元山長箭線を許設せり

北鮮一帶の豐漁に因る購買力の增加清津鐵道元山築港等の諸工事及び甲山銅山等の鑛業用資料、雜貨の輸移入大に、明太、其他水產物の輸移出、鮮內鮮人用漁人の往來等殊に顯著なるものとす江原道沿岸には唯一の特產たる夏鯖不漁に了はり荷動上何等看るべきものなし金剛山探勝客其他の便を計り開航したる元山長箭線には相當の荷客ありたり鬱陵島線に於ては鯣豐漁なりしも多年の不漁に加ふるに昨秋の大豆凶作のため格別の荷動きなし釜山浦項線は例年の狀態を持續し別に進況なし要するに釜山元山間の沿岸の輸出入は概して不況なりしも元山以北の盛況に於て之を償ふて餘りあるものあり

三、南沿岸各航路

釜山濟州島線（命令）　釜山麗水線（命令）　木浦麗水線（命令）　木浦濟州島東廻西廻線（命令）

釜山木浦間に於て旅客往來多かりしも荷動き閑散に於て其大宗たる米價頗硬にして且つ出廻り閑散のため或は釜山より光陽地方へ移入或は內地より釜山に廻移入等の異例なきにあらざりしも平を通じ相當の荷動ありたり釜山濟州島線及び木浦濟州島線は漸次發達し今季は夏鯖不漁に了りしに拘らず相當の成績を收むるを得たり殊に同島各港より木浦又は北鮮仕出け粟の輸出ありたるは新現象とす

四、西沿岸各航路

木浦若松線（私營）　仁川木浦線（命令）　仁川鎭南浦線（命令）　木浦多島海線（命令）　仁川海州線（命令）

當方面各線の發達遲々たると仁川木浦線、多島海線に於ては稍々看るべき進捗を示し木浦若松線に於て酒小の輸出絕好況なるは特記すべき事項とす

要するに當會社本季に於ける營業成績は大に好況にして時局のため營繕費其他一般船費の騰貴ありたるに拘らず收用に於て別に增加を看ること無く收支計算上東來曾有の利益を收むるを得たるは是亦畢竟時局の影響に因る一時の特殊狀態にして他日の反動に備へざるべからざるを以て此好機會に於て出來得る限り會社の基礎を固めんことに努め船價償却金別途積立金等を增加し餘力を以て職員臨時特別手當金と株主

▲臨時特別配當金　となし計上

せり乃ち總收入金九十一萬二千七百卅三圓七十一錢總支出金五十五萬四千五百九十四圓二錢差引金三十五萬八千百三十九圓六十九錢にして此內より船價償却金十六萬四千四百八十九圓五十一錢船舶大修繕積立金三萬五千五百八十六圓六十五錢建物原價償却金二千九圓六十錢を控除し益金十五萬六千五十三圓九十三錢を得たり之に前季繰越金三萬十八圓五十八錢を加へたる金十八萬六千七十二圓五十一錢の內金一萬圓を商法に據る準備積立金とし金五萬圓を別途積立金とし金八千圓を役員賞與金として金八千九百九十一圓七十九錢を海陸職員臨時特別手當金とし金五萬二千五百圓を株主配當金（一株に付金八十七錢五厘即ち年七朱に當る）金一萬五千圓を株主臨時特別配當金（一株に付金二十五錢即ち年二朱に當る）とし金四萬一千五百八十圓七十六錢を後季繰越金となすを相當と認め茲に利益分配案を提出するに至れり

當期利益金	一五六、〇五三、九三
第四期後半年度より繰越	三〇、〇一八、五八
合計	
內	
準備積立金	一〇、〇〇〇、〇〇
別途積立金	五〇、〇〇〇、〇〇
役員賞與金	八、〇〇〇、〇〇
海陸職員臨時特別手當金	八、九九一、七九
配當金（年七朱）	五二、五〇〇、〇〇
臨時特別配當金（年二朱）	一五、〇〇〇、〇〇
次期へ繰越高	四一、五八〇、七六

籾摺業と調製

仁川に於ける籾摺業は內鮮人共に近來非常の發展を來したる者の如く現在內地人側には不二興業、加來、藤本、井上、等の各精米所、鮮人側には趙鵬三外三十七名の同業者ありて何れも一日平均九十叺以上の能率を有する籾摺器械を一組（七臺）以上運轉して盛んに製造に從事せるが更らに內鮮人共に時勢の推移に促されて同業に從事せんとする者多く仁川に於ける籾摺業の前途は有望なるが如し併し乍ら鮮人同業者に在りては群山に於ける同業の如く大々的の規模を有するに非ずして調製したる玄米は小口賣買に充つる者殆んど全部を占め居れりと內地需要市場との連絡とを缺如せる結果乾燥調製の程度を規定されたる格の範圍に止めて單に米穀檢査に合格すれば足れりと言ふが如き觀念を抱き調製し居れるを以て最近に至り改良上の諸般の設備はりたるにも拘らず實質に於て反つて結果良好ならざる如き矛盾せる現象を呈しつゝあるは折角米穀檢査制施行以來好調に向ひつゝ有る當業界に腐敗の空氣を注入するに似て遺憾少からず云々と某米穀貿易商は語れり（仁川）

郵船支店長會議

朝鮮郵船會社にては株主總會終了後二十七日より各支店長、出張所長及び出張員を召集し會議を開く由

金剛山通信廢止

金剛山內に於ける通信機關たる淮陽郵便所長安寺分室並に末輝里電信電話所の二通信機關は十月三十一日限り之を廢止せり

池田長官東上

遞信局長官池田十三郎氏は二十三日午前八時三十分發列車にて東上の途に就きたるが公務に非ず私用なりと

張仁川領事着任

元鎭南浦駐在支那領事たりし張國威氏は今回仁川領事に轉任廿三日着任したるが二十四日各官衙公署を歷訪し新任の挨拶をなしたり

小川勝本兩氏南行

入京中の護謨士代議士小川平吉同勝本法學博士の兩氏は大邱に於ける談合事件公判被告辯護の爲め二十五日午前八時三十分發列車にて大邱に向ふと

北滿洲より

（第九信）　琴花

○吾等は哈爾賓に於て豫定以外の時日を費し、當初凡そ五六日の割當をなせるもの倍數の日子を要しぬ、極東經濟の中樞地たる哈市の實價が豫想より遙かに優越して朝鮮物產の紹介は此地に最も重きを置くの切實なるを感じたればなり、殊に我等が京城を發せんとするに臨み浦鹽に上陸し、烏蘇里、黑龍二線を經て歸途哈市に立寄らんと計畫せるを元山發船の都合にて之を逆行することに變更せるは最も僥倖なりき露國の鐵道は旅客に一個以上の托送荷物を許さず、持込荷物も邦度二尺二寸以下の長幅に制限せるを以て當初の旅程を取らんには携帶貨物の大部を途中に放棄せざるべからざるやも知れざればなり。

○作業の成績に至りては朝鮮の貧弱が一般の先入主となれるため、對者の感應性を惹起すること却々に難かりしも、實產物を携へたるに依り多數の觀覽者に二度吃驚の印象を與へたるは窃に快とせるところ、各方面に渉る遊覽幾日、東洋館內の開店五日、邦商來り、露商至り、支那商會し、一般紳士を迎へしの少からず何れも朝鮮產業の進步を稱せざるなく、有力なる橫濱の松浦商店主人が殊かも哈市の支店に來合せて格別の好意を寄せられ、十六日の列車にて莫斯科の支店に赴く店員に托して我等が携帶品中の歐露に適するものを輸するを快諾され、且つ同支店にて試賣せらるゝ芳情の下に數品を托送し得たるは深く感謝する所なり。

○露商間に於ける日本製造品の不評にして其需用は戰時に於ける一現象に過ぎず、戰雲一たび收まらば恐らく跡を絕たんとの觀測甚だ勢力あることは既に通信し、亦內外に喧傳せらるゝ所の如し、商賈はさほど狡猾のものにあらず、中の好まざるの乙の愛するあり、悲觀の極めて愚なれども吾等が露國最大のデパートメントストーアにして哈市の新露國市街に宏大なる二個の支店を有し、七百の店員を使うて店內常に市を爲すチユリン商會と少額乍ら試驗的な取引の被注文契約を締結し得たるも未だ善惡の是非なき朝鮮產品なると其最大原因にして其品種數量の決定を爲すに方り各擔任部の主任より殆んど一齊に製品の缺點並に改良すべき要點を指摘し內地一流の製造に陷り百年の計を過つ勿れとの警告を受けたる洵に冷汗を催したる次第にて內地製品の信用地を拂へるの激しきを忖度するに餘りあり、其責任の所在內地商人のみにありと認めざれども努力と商業道德の缺乏せるは擯斥せらるべきに非ず、露國全土に瀰蔓する數千の店舖を有し、信用上の權威比類なきチユリン商會と直取引の道を開けるは我等の誇とするところ、將來能く其信を保ちて鮮產の註文を繼續せらるゝと否とは各生產者諸君の一諾に存すべきなり。

○百說は一見せしむるに若かず、暢氣にして實物を眼前にせざる商談のもどかしき露商に對し、優秀なる見本商品を携へたる敏捷なる靑年當業者を都鄙に派して露人の嗜好のまゝの物品を供給し、以て英佛の商品を露國內より一掃し霸せる獨商の機智俊活眞に敬服して範と爲すに餘りあるを銘肝せらる、夫の多衆の觀光團を組織し、プログラムに依りて所謂商工業の視察をなすが如き、花の三月、秋の夕、遊山七分の以て行樂となすべけんもその眞價の極めて疑はしく、閣員の肩書厳めしければ厳めしきほど外交辭令の交換に結局し實相の祖庭亂里を隔つるものに比して機軸の死活目を同うして語るべきに非ず、吾等が此行も實產物を携へて總合分量の微なりとも直に取引の眞底に一刀を下し得たるは喋々萬言の想像報告に勝る數段の意義あるを自信せんと欲す。（二十日）

◉訂正●　昨日本面の「米穀到着商業者に注意」と題する記事は上下二面に亘りて掲載する筈にて標題下に上を附せし處都合により此れにて全部掲載済となりたれば上字を削る　昨夕刊第一面「大阪實業團歡迎」と題する記事中京城商議會頭同問題に關し政務總監其の他要路を歷訪し當局の意嚮を窺ひ[illegible]るに付き爰に訂正す

人事消息

▲柴田榮吉氏（三井社員）　入京中の處二十四日夜退京
▲河井得之助氏（實業家）二十四日退京　▲佐伯武一氏（同）同上　▲堀田正一氏（同）同上
▲河東鈴氏（實業家）　▲青木支治郎氏（會社員）　二十四日夜入京天眞樓へ
▲高門清吉氏（實業家）　同上　浦尾へ
▲オースチン氏（米國軍人）　二十四日夜入京朝鮮ホテルへ

南譜北語

副總統選擧問題から端なくも南方派の歩調の亂れたのは段總理一派の引つ掻き廻し政策の成効である▲其れのみならず洪伊が黎總統の引き止めるのも聞かず內務の椅子を拋げ出すのは徒々以て南方派の旗色の惡い事を證明する▲孫も亦マンマと段總理の陷穽に落ち込んだから仕樣がない▲一體支那の歷史を見るに古來王韓の如き武力を有せずして天下を取つた者の永續した例が無い▲支那で勝を制するは武力に限る最も多く其の武力を使用した者に限る▲現に張勳が武斷派の牛耳を取つて當り散しても誰も手の附けてがないではないか▲張勳老人思ひ切つて乃公出でずんば四百餘州を如何せんともつと大きく出たら面白からう▲前の朝鮮銀行總裁今の大藏次官勝田主計氏都下の新聞記者と一堂に會して曰く▲時局多事多難の際三度び大藏省に次官となる一意國家の爲め[illegible]の努力を容まぬ積りだから宜しく諸君の御援助を仰ぐと式の如き就任の挨拶をした後▲一咳▲と云つて政論諸君に同情の押賣をするのではない當政を司る諸君としては正を正とし邪を邪とし善惡の批判他に嚴正ならんことを望むが▲併し其れは國家の公事に關してゞある私交上には不相變格別の御懇情をと例に依て活殺自在の如才ない應對振りは流石に大臣相當だとの好評▲風流永田警保局長に對し或人が『之からは川柳なども取締りは緩やかになるでせう』と質問に及ぶと局長早速筆を採つて『身振り過ぎて下女辷り落ち』と書き相手に與へて呵々大笑

最新刊　實驗活用　米相場極意　附最新式本場公定秘法　正價金壹圓　郵税金八錢

著者米界に顧問たること茲に久しく本書は著者の豐富なる實驗と熱心なる研究により相場必勝の玄妙を說き其收むる所一も古人の糟粕を嘗めず著者獨創の最新機軸を開きたるものにして如何なる相場狀態も臨機應變の極意を通俗的に詳述したり尚ほ附錄には離事中と捨てられたる本場公定秘法を何人も容易に收得し得る前人未發の方法を網羅したる稀有の珍書なり

最新刊　期米株式　天底直中測定極秘　正價金壹圓　郵税金八錢

直中測定の書從來數多流布せるも方法複雜加之ならず往々直下の後にあらざれば測定する事不可能の感あり本書に說く方法は極めて簡易にして而も的確に天井又は底値を何圓何十錢と先見豫知し得る是れ著者の最も得意とする所斯の如き最新獨創的秘書は果して他にありや前編は期米後編は株式にして株式の如きは實に不可思議なる程明確に測定し得るのみ今や大活躍の好機に際し只だ賴むべき最新智識の寶典あるのみ一刻も早く一讀を乞ふ

最新刊　米相場の奥の手　正價金壹圓　郵税金八錢　總布ポケツト形美本　全一冊百七十餘頁

米界に於て一攫千金の富利を博するは凡て商機の妙用宜しきが故也本書の述ぶる商機の妙用は即ち賣買上の眞の奥の手を餘蘊なく網羅し讀者にして若し方針の立たぬ時又は相場に迷ひし際本書を繙かれよ如何なる相場狀態も盡く明瞭に解決せん玄人も素人も必備の珍書也

最新刊　米株罫線學の粋　正價金壹圓　郵税金八錢　總布ポケツト形美本　全一冊百七十餘頁

本書は相場罫線學の眞髓を說き一々實例を擧げて迷ふ事なく相場の大勢及其月の方針は勿論日々の高低持合分岐點を盡く明確に豫知し一讀何人にも永久に活用自由自在なり本書の如きは未だ曾て世間に其類例を見ざる新生面を開發せし書にして野心ある相場に志す士は座右に缺くべからず

斯界の名顧問　阿部窯作先生著　以下四書阿部先生新著

發行所　東京日本橋區蠣殼町一　振替東京一九四五八番　信義堂（代金引替は三十錢增　送料八錢　鮮、滿、清）

日韓書房　新版報告

岡本米藏著　牛　第四十二版　定價一圓　送料十二錢

樗牛全集第六卷　日記及消息　定價一圓五十錢　送料十二錢

泉鏡花著　愛染集　定價一圓　送料十錢

矢野恒太著　ポケット論語　定價五十錢　送料六錢

天保錢會編纂　修養訓話　成功　定價二十五錢　送料四錢

京城南大門通二丁目　[illegible]

五分利國庫債券募集廣告

今回大藏省令第二十七號ヲ以テ五分利國庫債券募集相成候ニ付應募御望ノ向ハ左ノ各項御承知ノ上當店ヘ御申込相成度候

一、募集金額　二千萬圓
二、利率　年五分
三、利子仕拂期日　每年三月十五日及九月十五日
四、償還期限　大正二十年九月十五日迄ニ償還
五、應募價格　額面金百圓ニ付最低金九十六圓　但十錢位未滿ノ端數ヲ附スルコトヲ得ズ
六、應募保證金　申込高百圓ニ付金五圓ノ割合ヲ以テ申込ノ際拂込ノコト
七、拂込期日及其金額左ノ通リ　但最低價格以上ノ差金ハ第二期拂込金ト共ニ拂込ノコト
　第一期　大正五年十一月四日　募入高百圓ニ付金五圓（保證金振替）
　第二期　同年同月十五日　同金九十一圓
八、拂込延滯日步　百圓ニ付金四錢
九、初期利子　大正六年三月十五日ニ於テ額面百圓ニ付金一圓六十六錢ノ割合ヲ以テ仕拂フ
十、申込期間　本月二十七日ヨリ三十日迄　但期日前ト雖便宜御申込ニ應ス
十一、募入方法　應募價格ノ高キモノヨリ順次募入ス

大正五年十月

日本銀行京城代理店

[illegible]へありし各山元及び同業者側の[illegible]に反する實情を呈せるに驚嘆せるも〻如くなるが何分採炭に伴ふ設備[illegible]如く一般的[illegible]注文頻[illegible]を極むるが如き旺盛なるに猶ほ內地工業界の盛況により支配されつゝ現[illegible]せざれば之が補充は當分期待し難かるべし一方工夫募集の如きも各工業會社に於て種々の好餌を以て職工の[illegible]に應を求むるは當然なるに猶ほ其れ以上の好餌にて募集を開始し居れば到底現在の如き山元の募集はこれ以[illegible]

行在所の露帝 ―陪侍せるはブルシーロフ將軍―（ノーウオエ、ウレミヤ紙所載）

◉三色旗に皇室の御紋章
大本營行在所の露帝陛下

畏れ多いことではあるが露國皇帝ニコラス二世陛下には昨今ペトログラードの南方ドム河の上流に沿ふた或る驛に在る大本營においでになり、されて居られるが、非常な御精勵で

▽極めて簡楚な 御生活を

日曜日にも曾て大本營への御出勤を缺がされた事が無い位熱心に軍務を御覽になつておいでになる、陛下の日々御執務遊ばされる大本營の御居間といふのは裝飾も十分に行き屆いてゐない粗かに二十疊敷餘りの御部屋で、それは即ち其處の驛廳內の一室なのである、お附の人とても極く少數であつて萬づ御不自由勝の事が多いと承はつて居る

▽陛下の仁慈に 在す事は

是までいろ〳〵と傳へられた所であるが今回の歐洲戰爭に際しては陛下の國民を愛撫せらるゝ聖旨が隨所に發露されて居る、先づ陛下は獨逸と開戰の始めに當り『朕は國民と共に一致協力して此の戰爭を起した』と仰せになると共に例の三色旗の隅に皇室の御紋章を附すべき勅命を下して皇室と國民の隔る可からざる意を表明されたが

▽露西亞從來の 專制政治

の民を困しむる事尠なからずとの大御心は常に陛下御腦を去らざるものの如く例のウオツカの禁止令の如きも陛下の聖旨に基くものであるらしい、禁酒令に就いての意見を異にし失脚したるコヽツオフ內閣のあとを受けてウイツテ新內閣の成立したる時十二億の酒類專賣の國庫收入を六億に限定しその餘の六億圓を以て國民の禁酒を助くる諸種の娛樂機關の設備を爲すべき事を政策の一とせる

▽新閣員に對して 『朕が屢々內地旅行を爲して實見せる所によれば現今一般農民の狀態は甚だ憐れむべきものあり、之は何によつて然るかといふに第一はウオツカである、衆等の多くは僅かの金を得れば直ちにウオツカに醉つて逍遙ひ歩き或は妻子を饑餓に陷らしむるあり、或は寒氣に一命さへ喪ふものあり

▽農民の疲弊は ウオツカ

の飲用によつて來る事多きを以て之れを禁ずべし、第二は一般農民に金融機關の設備不足せり大藏大臣は農工銀行産業組合等の金融機關を設けて國民に殖産興業資金の融通を與へる事が必要なり』といふ樣な勅語を賜はつたが之れによつてみるも陛下が如何に農民を愛撫されるかといふ事が窺がはれるが、斯くの如く現今に於いては陛下自から國民に近づく事にお勗めになつて居られるため

▽昔と違ひ國民 の意思が

議會その他によつて上に通じ易くなつたのである、隨がつて皇室と一般國民とは政治的方面に於いて先づ一致して來たのである、或る一部の者は今回の戰爭が終つたら、千九百六年、即ち日露戰爭後に於けるが如く內亂が起るであらうと言つて居るが前述の通り當時と今日とは餘程その事情を異にしてゐるから、國民が或る一部の學者や過激なる

▽政治家の煽動 に乘て不

穩の擧に出づる樣な事はあるまいと思はれる、現に角今回の歐洲戰爭によつて一大刺戟を受けたる露西亞は社會的に急速なる進步發展を見たが尙ほ戰爭が永續すればする程一年が十年位の割合で發達するに至るであらう、然かして戰後に於いては現今穀物を供給しつゝあるが如く全歐に於ける重要物資の供給地となるであらうと想像される、果然現在の露西亞國民は

▽其民族の平和的發展を

爲さんとするには經濟産業、文化經[illegible]べてに亙つて獨逸人の羈絆より脫して鞏固なる根蒂を自國の創造に俟たねばならぬといふ點に就いて大いに自覺してゐるやうである（某露國通談）

◉仁川神社例祭
神輿渡御
全市行列參加

仁川神社例祭は立太子式御當日を以て執行せらるゝ事は既報の如くなるが今其の次第を報せんに前夜祭は十一月三日午後八時より執行せられ定刻神職、氏子總代、祭典委員其他社殿所定の座に著くと共に修祓式を行ひ終つて嚴かなる

▲奏樂の裡に開扉 なせば[illegible]祭主以下神饌を供進し祭主の祝詞奏上に[illegible]又も森然たる夜に澄める笙、ヒチリキ、神樂の奏樂の裡に氏子總代長、祭典委員長、氏子總代以下諸員の玉串拜禮の儀ありて祭主以下神饌を撤し奏樂の裡に閉扉し前夜祭を終り四日は公式祭とて午前十時祭主以下祭員參進して祓所定の座に著けば久水仁川府尹[illegible]を[illegible]せしめて參進所定の席に到る[illegible]いて氏子總代祭典委員長其他官民所定の座に著く先づ修祓式ありて奏樂の裡に開扉、神饌の供進、幣帛の奉奠、祭主の祝詞奏上、玉串拜禮等ありて[illegible]すれば祭主は神殿に昇り[illegible]神輿に遷し奉りて一同拜禮退去し夫れより神輿渡御の式に移る

▲御道筋は宮町本通りより本町を經て支那町境より港町に入り松阪町電燈會社を上に廻り花房町御旅所著次に支那町を經て仲町に入り新町を通り小學校前より敷島町へ直線に進行し宅合名會社構內なる御休憩所に入り前路を通り寺町より還幸すべし尙當日の祭典委員としては長野茂樹氏委員長に境內係には中山氏以下六名神輿警衛係としては奧田貞次郞氏內鮮人九名道具衣裝係、武者係、稚子係、餘興係、行列係等七十餘名にて境內には素人相撲藝妓の手踊は勿論全市擧つて行列に參加し

▲假裝山車等を出 す可ければ當日の賑ひは非常なる可く目下各町にては寄々賑ふ方法を協議し券番其他各組合工場等にても何等かの計畫ありとの事なり（仁川）

◉投身女蘇生す

朝鮮郵船會社麗水航路の海州丸は廿一日午後一時釜山を出發し馬山に寄港午後七時半同港を解纜し港內なる猪島の附近に差かゝりたる時突然甲板より海中にザンブと許りに躍り込みたる年若き婦人あるより船員は直ちに船長に報告し救助船を下し附近一體を搜索せしも影だに判明せざれば馬山に引返し斯くと其旨警察署に屆出でたる後約二時間程遲れ午後十時頃統營に向つて進航を始め再び猪島の附近を通過中遙に向ふの沖合に救けを求むる女の悲鳴の聞ゆるより船長は直に船の進行を止め救助船を下し船員と共に救助に向ひ浪の間に〳〵叫ぶ聲をたどり行き沈みつ浮きつ浪間に漂へる女を抱き上げ本船に連れ歸り機關部の隣室なる暖かき部屋にて應急手當を施せし甲斐ありて間もなく蘇生したるが其死因につきては一切口を緘して語らざるも多分失戀の結果ならんと福岡縣田村郡阿賀村字赤沼生れ田中ふさ（二七）と云ひ釜山では下女奉公に住み込み居たる由（釜山）

◉少尉と稱する賊
京城を荒し全州で捕はる

數日前より全北全州に入り込み豫備陸軍步兵少尉山名某と云ふ名刺を亂用して各官衙を訪ひ自分は京城植松商店員にして今回萬年ペン販賣擴張の爲め各地方に出張したる者なりと稱し販賣し居る擧動怪しき點あるより其筋にて內探したるに此者前科三犯の曲者にて先頃京城に入り込み到る處の吳服店、雜貨店、小間物店を荒し廻りて莫大な金品を詐取又は詐取し該金は悉く酒と色に費ひ果たし漸く京城署にて彼れの擧動に著目し活動を始めたるを知るや今度は全州に落ち延び盛んに豫備少尉を振り廻して警察署及び警務部各官公衙を訪ひ仿り居りたるが一兩日前京城署より全州署に宛て右犯人搜査方の電報著する間もなく道廳前に於て刑事の手に捕へられ京城に護送されたり（全州）

◉釘六百七斤を喰ふ

福井縣丹生郡藏野村生れ住所不定前科三犯渡邊秀治（二七）大阪府北河內郡牧野村生れ京城中學洞居住印吟勝次郞外一名は八月以降十月初迄に龍山漢江通り十一番地陸軍倉庫新築工場範多商會の工事場より數回に屋根葺用亞鉛板七十五枚釘大小樽詰六百七十斤此金見積約三百圓のものを窃取し京城黃金町三丁目居住長野縣北佐久郡岩村生れの古物商田健次郞（四〇）廣島市平塚町生れ京城永樂町二丁目古物商宮木直太郞（三七）の兩名に依賴して贓品を處分せしめたること發覺し何れも龍山憲兵分隊に引致せられ目下取調中

◉亡び行く中船
古い香りの絡はる出船祝ひの酒宴
海上ロマンスの一

朝鮮の漁業界は併合以來日進月歩の勢を以て今や總ての漁法は內地式に改善されんとしつゝあるが、其の反面には中船漁法の如き古典的な漁業に泥んだ漁業が、月に年に廢れて今はその殘骸し、潮吹ひ叫ぶ滄溟に橫はつて徒らに文明てふ嵐の嘲笑の的となつてゐる、如何に新しき者は興り、舊き者は廢るとは謂へ過去數百年間朝鮮に於ける漁船中の覇王として獨り遠海漁業を擅ましにして居た中船が、一朝にして新文明の潮流に遠慮會釋も無く滅されんとする、を見ては誰れしも惜別の歎に堪へざる者が有るであらう、記者は怪しき漁法と、致果ない運命とを有つた中船の此處に漸く亡び行かんとするに當つて此れを弔ひたいのである。

仁川近島なり富川郡禮湖里や山伊浦、開城郡禮井浦は今こそ二三艘の中船に依つて纔かに昔の俤を傳へて居るに過ぎぬが數年前迄は

▼中船の根據地 として頗る有名な者であつた、此の中船は石首魚の漁撈が專門で例年漁期に至れば南は全羅南道七山海から、北は黃海道延平島等に出漁するのであるが愈々石首魚の時期が來ると西里の漁夫は鍬を棄て、耕作を廢めて

▼出帆の準備に 著手する或者は帆を繕ろひ、或者は船大工となり、或者は舵を取附け斯くて準備全く成るや一同船に乘込みいざ纜を解かんとなると親は子の海路の幸あれかしと祈り子は親の無事を祈り、妻は夫の前途を祝福する爲めに海岸に集うて、紅黃紫の服を纏ひ杖を執り刀を振る巫女と共に天上を仰いで海上平穩、大漁の祈をする此の時

▼船中では犧牲 として牛を屠つて此れを酒、餅、鯛、鰕、蟹、昆布、大根、等有ゆる山海の珍味と共に并べて、海路平穩、大漁の祈禱をしつゝ耳を劈ざく鐘太鼓の音に和して天地陰陽に祈つては手を組み踊を躍らしては七三の韻律に合せ、船中

▼割返る計りに 舞踏する、此れが終ると今度は盛んに飮み且つ食つた揚句珍酒を獻り佳肴を倒し入り亂れて高笑亂舞しつゝ船は徐ろに纜を切つて沖に出るのである（仁川）

菊の香草紙
巴城館のゑんぢの司

◇巴城館の菊は夜番の平田さんが培る、それに主人もなか〳〵の菊好きであるらしい◇此所では庭が狹いから裏の千登世の物干臺で間に合せて居る◇巴城館の菊は花よりも葉の出來工合がお自慢だとのことである◇何れも立派である◇此の頃は表のものでで間に合せようと思ふけれども應接間から廊下から黃紅紫白色とり〴〵の美しさであるが進物は時々山縣政務總監のお邸に持去らる◇そこで主人は一策を案じ時々花屋の『何うも家のを見ては見られませんからな……』◇玄關からあがつた薄暗い座敷には古い山水の軸物の床に紅の小町紅や純白の月桂冠、薄紅の花美人などが並んで居た◇種類は一樣づゝ皆美ふとのお自慢であつたが薄暗い障子の光りと床の軸とは非常なよい調和を見せてゐた◇寫眞は應接間にあつた純白『ゑんぢの司』の大輪である。

コレラ彙報

[illegible]元町の一部村上町の交通遮斷を撤したるにより目下危險區域として遮斷中なるは西門市場裏の一小部分のみ中にも市內琴平町岡野旅館の料理人鮮人に發生したれば直に交通遮斷を行ひ嚴重に取締り居れり（釜山）

[illegible]にして內地人[illegible]名朝鮮人五十二名[illegible]なるが死亡者は內地人二名朝鮮人十二名なりと[illegible]南道二十四人なり

◉談合公判と辯護士

二十六日大邱覆審法院に於て控訴公判開廷の第一第二兩大談合事件辯護士は東京より花井卓藏、代議士小川平吉、同法學博士鵜澤總明、大阪より法學博士大井靜雄四氏、京城より安住時太郞、岡田榮、朝倉外茂鐵、赤尾虎吉、勝本勘三郞氏、木尾虎之助五氏と決定し各辯護士共二十五日迄來邱の筈なるが尙大邱よりは堀地常作、加藤一郞二氏出廷に決せり（大邱）

◉金時計が手掛

京城黃金町二丁目飮食店洪鍾億方同居金昌淳（二〇）は一定の職業もなきに立派なる服裝をなし金側懷中時計などを所持して身分不相應の金を使ひ居れるを龍山憲兵分隊の刑事が怪しみ引致取調べの結果同人は本年四月中永登浦皮革會社重役金子氏の宅に忍び込み金指環二個現金若干を窃取し指輪は其儘使用し尙金側懷中時計は氏名不詳の朝鮮人より十圓にて買取りたりと言ふも多分京城電氣會社電車課長村尾氏の盜難被害品らしく其他三坂通りにても外套銀側時計一個を窃取し居れり目下嚴重取調中

◉驪州支廳出火

二十四日午前二時半京畿道驪州郡邑內所在京城地方法院驪州支廳より出火し驪州憲兵分隊より憲兵驅付け附近の者と共に消防に努め同四時十分鎭火せり損害約二百圓位原因其他に就て取調中

◉麻浦の警戒解除

一時稍蔓延の兆ありし京城府麻浦洞の虎疫も龍山憲兵分隊の防疫に依り其後患者の發生なく殆ど終熄の姿となりたるを以て龍山分隊にては二十四日同洞の警戒を解除し應援隊の憲兵は其れ〴〵歸任せしめたり

△大正館 二十四日より全部差替へたるが其主なるものは左の如し △活劇イックスの武裝全四卷△[illegible]エルサレムの風俗△[illegible]全三卷△新派悲劇[illegible]全四卷△[illegible]三人吉三全三卷

京日案內
▲申込後中止掲載中止の節は料金返戻せず

◆普通◆

◉求職 早大商科出身年三十二歳經驗有役所銀行會社通勤內事書記希望市內確實保證人有（姓名在社）578

◉金融 立替等御報伺上來談更に住本町電車終點花園町部大和屋質店迄 567

日鮮人を問はず配達人入用希望者は本人來談の事 黃金町三丁目 京城新聞社 592

▼古本と古樂器大注文引受に付此際非常高價買入 本町二●電二五二七●ツッボヤ書店

◉牛乳配達夫入用年齢二十歳以上三十ヵ歳以下市內保證人を要す 京城西大門外冷洞七六 東洋牧場 593

市內日貫の場處有利の事業歸國に付き至急讓る 詳細は電話一三七八番へ 588

▲廿五歳以上の外交家（藥賣員外交員）採用希望者藥帶携午前中來談 京城本町二ノ一〇六 大正生命支部 564

商に經驗ある廿歳位迄の者至急入用 仁川宮町 いせ德履物店

古本なら野村 明治町筋電二六三六 野村書店 買入誠實御報參上 431

◉古本 高價買入 京城本町三丁目 東京堂書店 446

恩給年金立替 新龍山漢江通 六番地元田町 江州屋龍山支店 452

姙婦産婦預所（規則申込次第送呈）○京城産婆院○ 京城南山町二の三五 電取次一三三九 483

◆番外◆

貸家所塲 京城永樂町二丁目七番 日本建平家瓦葺間取八疊四ツ六疊ツ四疊半六ツ三疊二ツ 官吏向又ハ紳士住宅向 京城本町二 釘本商店 590

蕎麥店讓 目拔の場所老店にして繁昌す都合により諸道具電話附讓り渡す希望の人は至急申込あれ 京城旭町三丁目 電話一二〇八 開[illegible]庵

鑛物定量分析 京城府太平通（朝鮮公論社左小路） 電話一三四四番 坂元分析所 538

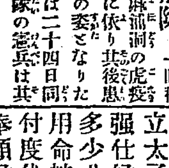
◉京城春川間行自動車賃金片道四圓 ◉京城春川間毎日午前八時出發 南大門通一丁目 電話二一九番 京春 廣橋自働車 主務 金正淵 428

恩給年金低利長期即金立替 ▲地方同業店取扱債權特別低利讓受 京城永樂町一 商品陳列館前 江州屋本店 541

易 相談毎日午前九時より十人を限り依賴に應ず【見料隨意】 永樂町一ノ九 均陵庵 549

▲鑛物各種分析 京城太平通二の二三〇元朝陽分析所 電話二八三三 松永分析所 560

恩給年金長期短期無保險月利一歩二厘五毛 即時現金立替 京城南大門外（舊御成町） 山口屋 567



立太子式奉祝の爲め大勉強仕候間多少共御用命被仰付度伏て奉願候 京城永樂町二丁目 石野商店 電話二五一〇番

鹽 各種食鹽販賣 龍山製鹽所 龍山元町四丁目 電話四〇七番

◎病人諸彦に急告す

今般不肖笑堂儀多年の苦心と經驗とに依り得たる心的治療法を左記場所に於て施行す

十月二十日

心的作用探究者 加藤心的治療法 加藤悟導軒笑堂

◎場所 市內壽町二番地原金旅館
◎開始期間 十月二十一日より向ふ參週間
◎治療時間 午前九時より午後四時迄
◎料金 毎回一圓
◎心的療法研究志望者は懇切相談致まし

熱心誠實に事務を取扱ふ 辯護士 從五位 堀池常作 事務所 大邱府南龍岡町

= TAKA-DIASTASE =

高峰博士創製の本劑は從來北米及英國にて製造の品を販賣し來りたるも今回本邦に其工場を設け純國産品となれり 類似模造品を本劑と同一强度又は同一効力あると稱し販賣するものあり注意を乞ふ

本劑は粉末及錠劑の二種あり ●本會社發賣のタカヂアスターゼは總ての胃腸患者に賞用せらるゝ殊に本邦人に最も多き澱粉消化不良症に起因する諸症に用ひて卓效を奏し從つて能く其榮養を增進す

東京室町 三共株式會社

花火は 京城三坂通四十七番地 鍵屋煙火製造所 電話二八七三番

品揃地方洋服店御注文歡迎仕候 羅紗 Y.U 上村彌勝羅紗店 大阪市東區谷町二丁目二十二番地 振替大阪九九五五番 電話東二八四一番

營業品目

肥料部 蒸製骨粉、乾血、蹄角粉 星印配合肥料、細工用地骨 細工用蹄角各種膠及膠原料 京城東大門外紅葉町 朝鮮肥料製造所 電話二六三五番

石鹼部 化粧用石鹼、工業用、家庭用石鹼、浮石鹼、粉末石鹼 牛脂、椰子油、鯨油、其他油脂類、苛性曹達、洗曹達 京城岡崎町一四番地 朝日石鹼製造所 電話二五六四番 電話二九七〇番 振替口座京城四〇〇番

東京製鞄 旅行用具一切

雨合羽 色々

ゴム引マント 防水布外套マント色々 洋傘 魔法瓶中瓶取次

卸小賣 高木商店 京城本町一丁目電話一三四番

渡邊默禪

『一四一』心のたゝかひ

そんな都合の好いことばかり能きるものではない!!

いくら、どう考へても、煎じ詰めた歸着點はこの一語であつた。たとへ自分が涙を絞ひきせた血のやうな言をもつて、切ない眞心を訴へたとしても、父の自分に答へてくれる語はこれより外にはあるまい。素性も知れぬ外人の私生兒であつて、而もそれが女優の肚に生れた秀さんを、その母に欺かれて、全く盲目扱ひに

父に馬鹿者になれ、盲になれ、精神的の自殺をしろ、名譽を蹴つて了へ體面をつぶして了へと强請するやうなものである。父はどうしてそんな非常識な言に耳を傾けるものか。必ずく叱りつけるに相違ない。それが世間の振合である。普通の人情である。

とすると秀さんは、どつちにしても大河野の家庭から除かれる運命に立たねばならぬ。斯うするのが家にとつて至極都合のよいことであらう

されて了つて、二十餘年の間我子として養育したことさへ、既に父にとつては大なる侮辱であり恥であり不覺であり憾である。其の侮辱に對する復讐を意味し、恥を雪ぐ手段を意味した嚴重の制裁を秀さんに加へることは、父の立場として止むことを得ないのである。假に父が父一身の利害や感情をのけものにして、寬洪な心になつてくれたとしても、祖先からこつち形のない一種の偶像のやうに崇拜して來た大河野家の名譽といふものや、もつと廣い意味の貴族の體面といつたやうなものが、大事に取扱はれてゐる以上は、家長の責任からいつても遊厥してもきつぱりとした處分をせなければならぬのである。それを忍んでくれ宥してくれといふのは今までの通りにしてくれといふのは

が、さて秀さんは如何か。

第一適く所があるであらうか。一旦庶子として入籍したものを離籍するには、どんな手續をするのか、そんな難かしい民法上の規定は知らないけれど、母の輝子へ引渡さうとしても彼は果して素直に引取るであらうか。住江の手紙に書いてあるやうな腹の黒い女ならば、容易に承知はしまい。よし承知をするとしても、それは澤山の金と厭ましい條件をつけた上のことであらねばならぬ。と、すると差向き困るのは秀さんの體の持つて行き所である。秀さんは行くに家のない漂泊兒となるのだ。さうして絶望と心配と孤獨と憫みの人になつて、社會の水平線下に便なく沈んでゆくのだ。あゝいつたやうな性格の人は、浮雲のやうな其時〳〵の氣分に生きてゐるので、心の光とする信仰もなければ、自分を支へるだけの意思がない。失望の後ではきつと自暴になる。悲離や心配をした揚句には、必ずいゝ如何でもなれといふ捨鉢の感情に落ちる。そこが惡魔の突目だ。誘惑が來る、いろんなものが欺しに來る。現在輝子といふ大きな誘惑物があるではないか。その爪に引かゝつて惡魔の食物になつたとすると、秀さんは結局どんな人に變つてゆくであらう。墮落?墮落?たゞ眞闇なところに曳摺られていつて滯の中に腐れる落栗のやうな憐れな一生に自分を葬るだけのことである。假そめにも十數年の間、姉さまとして親みつらけた秀さんに、どんな餘儀ない事情だからといつて

そんな苦痛を與へるといふことは忍び得ないとである。秀さんは決して惡い方ではない。住江や勇さんはまだ秀さんの胸の底へ突きぬけた見方をしてゐないのだ。誤解してゐるのだ。やはり先に立つ反感に欺かれてゐるのだ。

といつて其を救ふとが能きぬ。救ひ得るとしても、父と家庭とを犠牲にしなければならぬといふとが、自分にとつて堪へ難い困難である。不可能である。

あゝ、自分はやつぱり神のさゝやきに耳をふさいで、そして自分の眞實な心を殺して、究窟な社會といふもの、不自然な律に從はねばならぬのであらうか。

婦人科 産科 二宮醫院 京城壽町四一 醫學士 二宮亮吉 電話一二〇一番

新刊紹介

▲新國民(十月號) 十五錢東京市神田區駿河臺袋町一六大日本國民中學會

▲市町村雜誌(十月號) 十錢東京市芝區田村町六共社

▲國民時報(臨時增刊政變號) 建部、三宅兩博士、松岡、床次、林、關、犬養等の各議員其他諸名士の各方面より政變を論じ新舊兩内閣の比較を試せるもの時節柄見るべし(二十錢東京市麴町區有樂町一の三共社)

▲現代之科學(十月號) ダランベールの力學「桑木博士」自然的常數と其數値に就て「石原博士」X線の放射と原子の構造に就て「西川理學博士」等天文、地理、生物、理化學等に就て一戸博士外各專門家の執筆に成る記事を收む(二十八錢東京府下澁谷二一五一戸直藏方)

▲面白倶樂部(十一月號) 小説講談、落語お伽噺、活動寫眞、探偵實話、歷史小説等の外名優逸話、花柳港話、怪談、成功美談等を盛り手榮萬紅の觀(十二錢東京市本郷區駒込坂下町四八講談社)

▲修養訓話成功●●●●● 本書は天保錢主義の眞意義を平易に解說せるものにして日常の生活に直に應用實行し得べき成功の教訓なり(廿五錢東京市神田區錦町一の一〇松山堂)

▲獨習受驗英語原書の讀み方(難文速解法)『岡本恒太郎編』 世界名家の原書中比較的意澤に因難なる文章百數十題を選抜し語句語法等の小事に拘泥せず直接原文の眞意を速還的に速解するを目的として編纂せるものにして課文明快、註釋甚だ要を得たり中學四五年程度好恰なる英語學習書にして受驗參考書として特に効果あるべし(四十錢東京市本郷區駒込動阪町一〇二六元社)

新荷著スイツツル製懷中時計

機械堅牢示針正確體裁優美然も實用的にして價格の低廉なる事天下無比

ニツケル側	十八形	(片蓋)	二圓五十錢
同	同	同	二圓八十錢
同	十六形	同	三圓九十錢
同	十四形	同	四圓三十錢
同	十七形	同	六圓九十錢
同	同	同	十二圓三十錢
ラヂユーム付十八形同			五
同	十六形	(兩蓋)	十六圓二十錢
金鍍金	十六形	(片蓋)	二十三
金パリ 十年保險	十八形	同	六
同 十年保險	十六形	同	二十八
同	同	同	二五
銀側	十八形	同	十六圓八十錢

以上三百個造着荷

有は今回新着の商品にて本商會獨り之を有し他店には一寸も無き所のもの伏して顧はくは急速御用命被仰度候尚地方遠隔の御注文に對しては代金引換小包郵便にて御送附申上候

時計、蓄音器、ミシン機械、自轉車、洋酒各國貿直輸入商

イングレツシー商會

本店 京城本町二丁目電話九七二番

最上 鶴 醤油

京城府龍山元町 關西商會醸造所 電話三十九番 振替口座京城七三九番

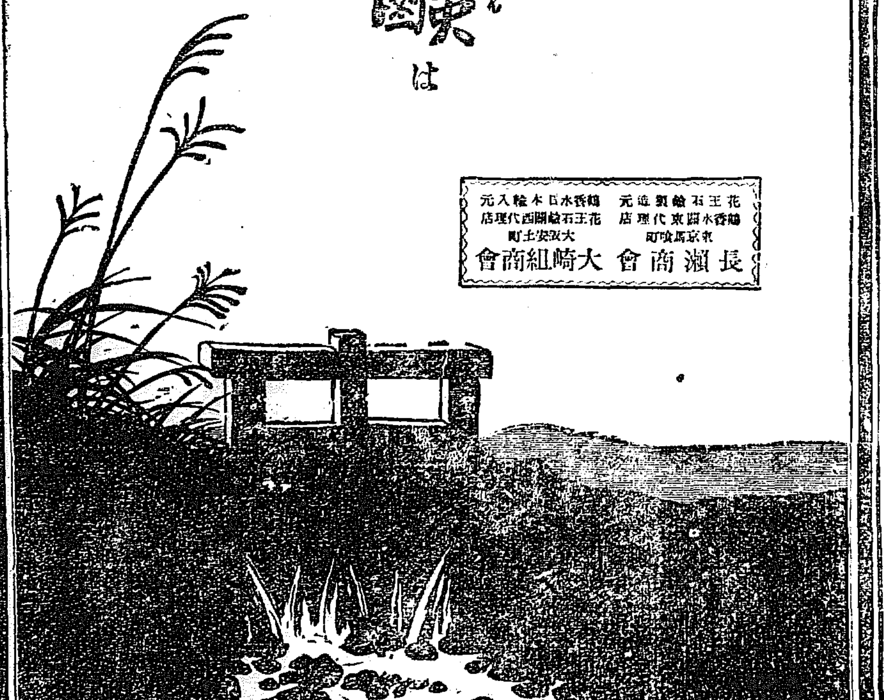
質 京城黃金町二丁目 永樂町(停留所北入) 堀佐營業所 (電話六三九番)

蘊蓄廿餘年 類なき經驗に加ふるに最新の學理を以てする

品質本位

花王石鹸は

實用に於て必ず優秀なる効果が認められます。



花王石鹸製造元 鶴香水園東代理店 東京馬喰町 長瀬商會
鶴香水日本輸入元 花王石鹸關西代理店 大阪安土町 大崎組商會

此の壜で何方でも

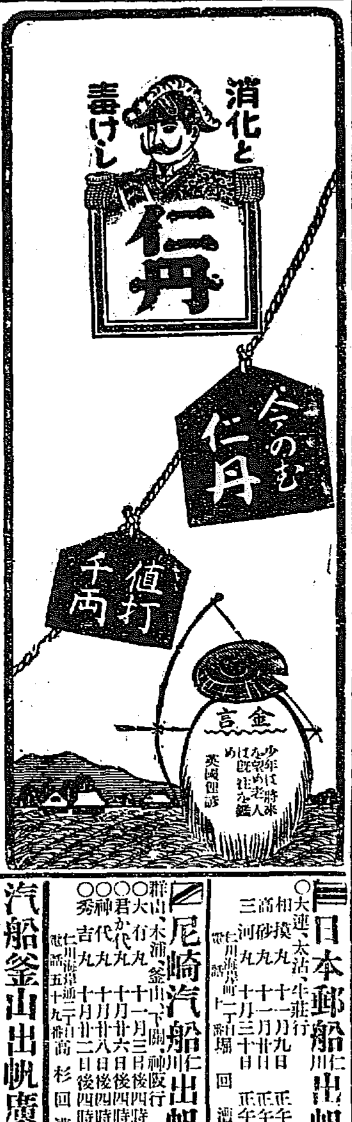
手輕に美顔術の出來る

クレームレート

宮内省御用 皇后宮職御用 各宮家御用

些少の脂肪分も含まず着けて粘々せず芳香馥郁としてお肌の肌理を良くし色艶を増し素顔を一段と美しくする最も手輕で効果の多い男女必須の美顔料です

東京 平尾贊平



花柳病 外科專門

梅毒 淋病 泌尿生殖器病 痔瘻 丸病 肛門病 皮膚病 婦人病 神經衰弱
六〇六注射 包皮其他手術 隨時
診察無料 入院 毎日

京城長谷川町南大門通農銀裏 司生堂醫院

月やく

なきに御困りの方は郵券三錢封入左に御照會あれ 藥妙知らす

京城黃金町三丁目 山田志づゑ

日本郵船仁川出帆

○大連、太沽、牛莊行
相摸丸 十一月九日 正午出帆
高砂丸 十一月廿日 正午出帆
三河丸 十一月三十日 正午出帆

仁川海岸通一丁目 電話一〇八番 堀回漕部

尾崎汽船仁川出帆

群山、木浦、釜山、下關、神阪行
○大有丸 十一月三日 後四時出帆
○君が代丸 十月廿六日 後四時出帆
○神代丸 十月廿八日 後四時出帆
○秀吉丸 十月廿二日 後四時出帆

仁川海岸通二丁目 電話五十九番 杉回漕部

汽船釜山出帆廣告

門司、神戶、大阪行
○立神丸 十月卅一日 後五時出帆
○小倉丸 十月 日 後五時出帆
元山、清津、浦鹽行
○立神丸 十月 日 後十時出帆
○小倉丸 十一月二日 後四時出帆
元山、西湖、新浦、城津、清津行
○第三莘平丸 十月 日 後六時出帆
門司、宇品、神戶、大阪行
○第三栄平丸 十月廿八日 後六時出帆
佐須奈、嚴原、壹岐、博多行
○天與丸 毎月二日八日十四日廿日廿六日 午後十時出帆

釜山港埠頭通 本船取扱店 大池回漕部

阿波共同汽船仁川出帆

○芝罘、大連行 關東都督府命令船
第十共同丸 十月 日後四時入 十月 日正午出帆

朝鮮鐵道主要驛にて荷客連絡輸送御取扱仕候 大連にては青島行定期船接續荷客共直航船と同額運賃にて通し輸送御取扱可仕候

阿波共同汽船株式會社 本町四丁目(電話一七三番)
仁川代理店 野口商會
元山代理店 春日町(電話二四七番) 田口回漕部
京城取次店 南大門(電話二六八・二〇一七) 河村運送店

朝鮮郵船出帆

本社 電話長一九五・二一一・三番
鐵道寄託及社外船との荷客連絡輸送の便あり詳細は支店、出張所、代理店、荷客取扱店に御照會相成度候
京城南大門驛前 京城荷客取次店 松原運送店(電話長一七〇番)

○全羅丸 十一月廿八日
○京畿丸 十一月六日
○黃海丸 十一月十二日
○成鏡丸 十一月二日
門司より釜山各港寄港木浦間航路 釜山發

○穩城丸 十月廿九日
○昌平丸 十一月七日
○鏡城丸 十月 日
元山より各港經由雄基行 元山發

○第二錦旗丸 十一月七日
○忠清丸 十一月一日
○平壤丸 十月廿七日
城津清津浦鹽行復航釜山より門司又は長崎行 元山發

○盈德丸 十月廿七日
甘浦、九龍浦、浦項各港寄港鬱陵島行 釜山發

○江陵丸 ○襄陽丸 毎日
長箭浦方魚津寄港 釜山浦項發

○三浦丸 十月 日
長承浦、巨文島、濟州島各寄港 釜山發

○海州丸 ○統營丸 ○巨濟丸 ○慶雲丸 毎日
各港經由麗水行(二日目一回木浦行) 釜山發

○順天丸 三日目毎ニ
各港經由麗水より釜山行に接續 木浦發

○慶興丸 十月 日
各港經由濟州島行(西廻) 木浦發

○慶興丸 十月 日
靑岩島、飛列島行(月三回) 木浦發

○公州丸 十月廿七日
各港經由濟州島行(東廻) 木浦發

○宗信丸 十月 日
海州他各港經由、鎭南浦又は白翎島行 仁川發

○江原丸 十月廿九日
靑島、大連、芝罘行 仁川發

○麗水丸 ○晋州丸 十月 日 十月廿八日
各港經由木浦行 仁川發

○全州丸 ○南陽丸 毎日午前
江華島、喬桐島、海州行 仁川發

大阪商船仁川出帆

○外航路所屬航路は本社航路を除く中國連絡船乘船の時は五分引を以て運賃を割引乘船切符發賣仕候

○群山、木浦、釜山、關門、神阪行
○薩摩丸 十月三十日 後五時出
×安東丸 十月廿七日
×天智丸 十一月二日
○木浦、釜山、嚴原、鄕の浦、長崎行
×信濃川丸 十一月七日 後二時出
×信濃川丸 十一月廿五日
○群山、釜山、横濱行
△福州丸 十一月三日 後二時出
△潮州丸 十月廿六日
○南浦、關門、神戶、大阪行
○日米丸 十月三十日 正午時出
△釜山、横濱行
○福州丸 十月 日 正午出帆
○鎭南浦、大連行
×信濃川丸 十一月二日 後二時出
×信濃川丸 十一月廿日
○大連直行
△福州丸 十月廿八日 正午出帆
△潮州丸 十一月十日
○鎭南浦、龍岩浦、安東縣行
○日米丸 十月 日 正午出帆
○淸津、浦潮行(元山出帆)
▲印六城津西湖津二寄港浦潮不寄港
○安平丸 十月廿六日 後二時出
▲宮島丸 十一月一日
○上海、基隆、打狗行(大連出帆)
○基隆丸 十月廿九日 後四時出
湖北丸 十一月十三日 前六時出

御注意 ●朝鮮鐵道及び南滿洲鐵道會社との船車連絡切符發賣仕候 ●御乘船の御客は本船出帆の一時間前無賃送迎可致候 ●×印は一時航客御取扱り △印は貨物船に付き乘客御断り

切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二二番二二〇番五五〇番
京城切符發賣所 內國通運會社支店 電話七〇八番

●中國四國諸港各港場各に對し一割引を以て連絡切符發賣仕候

商況

大阪三品特電

▲後場綿糸[illegible]

大阪期米(廿三日)

[illegible] 一七八〇〇 一七五〇〇 [illegible]

仁川米豆取引所

[illegible] 一四[illegible]

▲後場の手振 [illegible]

▲現物界 [illegible]

平均 二十四日の十二月限 [illegible] 十一月限 [illegible]

十月限 六千七百石
十一月限 五萬五千三百石
十二月限 六萬三千八百五十石